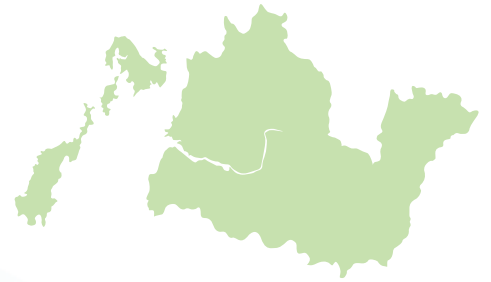




【平成23年刊行】

平成22年 消防年報



SATSUMASENDAI CITY
FIRE FIGHTING ANNUAL REPORT 2010

FIRE 

RESCUE 

EMS 





薩摩川内市民憲章

美しい自然と 古い歴史を誇りとする
わたしたち薩摩川内市民は

やさしくすれば 心はかよう
はなしをすれば だれでもわかる
考えさえすれば みちはひらける
やりさえすれば かならずできる
という信条をもって

明るく豊かなまちをつくります



市木 クロガネモチ



市花 カノコユリ



市鳥 メジロ



市魚(川) アユ



市魚(海) キビナゴ

は し が き

この年報は、薩摩川内市消防局の現勢と平成22年度中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考とするとともに消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関係のある事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

平成23年7月

薩摩川内市消防局

目 次

I 総 括

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢 1
2. 消防本部・署の沿革 2

II 総 務

1. 薩摩川内市消防局の組織 4
2. 消防本部・署の事務分掌 5
3. 消防庁舎の概要 9
4. 消防大学校、県消防学校等入校状況 10
5. 職員の階級別年齢状況 11
6. 職員の勤続年数状況 12
7. 職員の配置状況 13
8. 薩摩川内市消防局相互応援協定 14
9. 予算の比較 15
10. 消防費と人口の比較 15
11. 消防費の内訳 15
12. 薩摩川内市消防局（常備）消防分布図 16
13. 消防職員特殊技能その他資格取得状況 18

III 予 防

1. 地域別火災発生状況 19
2. 月別火災発生状況 20
3. 時間別火災発生状況 21
4. 原因別火災発生状況 21
5. 火災発生件数の推移 22
6. 損害見積額の推移 22
7. 防火対象物現況 23
8. 建築同意事務処理状況 24
9. 防火対象物定期点検報告制度実施状況 25
10. 中高層建築物一覧表 25
11. 諸届出書の処理状況 26
12. 予防査察実施状況 27
13. 地域別危険物施設現況 28
14. 危険物施設の数量及び類別状況 29
15. 危険物施設の許可等処理状況 30
16. 危険物施設の立入検査実施状況 31

IV 警 防

1. 消防水利状況 32

2. 消防車両等の概要	33
3. 救急資器材の装備状況	35
4. 特殊機材の装備状況	36
5. 潜水資機材の装備状況	38
6. 通信系統図	39
7. 無線配置状況	40
8. 無線設備分布図	43
9. 薩摩川内市消防局消防気象（本庁屋上）	46

V 救急及び救助

1. 地域別救急出場状況	47
2. 月別救急出場状況	47
3. 診療科目別搬送状況	48
4. 年齢区分別搬送人員	49
5. 時間別出場状況	50
6. 曜日・月別出場状況	50
7. 救急隊員の行なった応急処置状況（搬送者のうち）	51
8. 不搬送原因別出場件数	51
9. 救急件数の推移	52
10. 搬送人員の推移	52
11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況	53
12. CPA 患者社会復帰状況	53
13. 事故種別救助活動状況	54
14. 事故種別出場及び活動車両状況	54

VI 消防団及び消防協力団体

1. 薩摩川内市消防団の組織	55
2. 消防団員定数及び実員	56
3. 消防団員の年齢	56
4. 方面隊別団員数	56
5. 消防団員の勤続年数	56
6. 消防団車両の概要	57
7. 小型ポンプの概要	60
8. その他、消防行政協力団体	63
9. 特殊施設	65

付 録

1. 消防本部・署の沿革（川内市消防本部）	68
消防本部・署の沿革（川内地区消防組合）	69
2. 東北地方太平洋沖地震緊急消防援助隊「薩摩川内市消防局」活動記録	74

I. 総 括



緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練
平成22年10月8日～9日(薩摩川内市開催)

1. 薩摩川内市消防局管内の位置と地勢

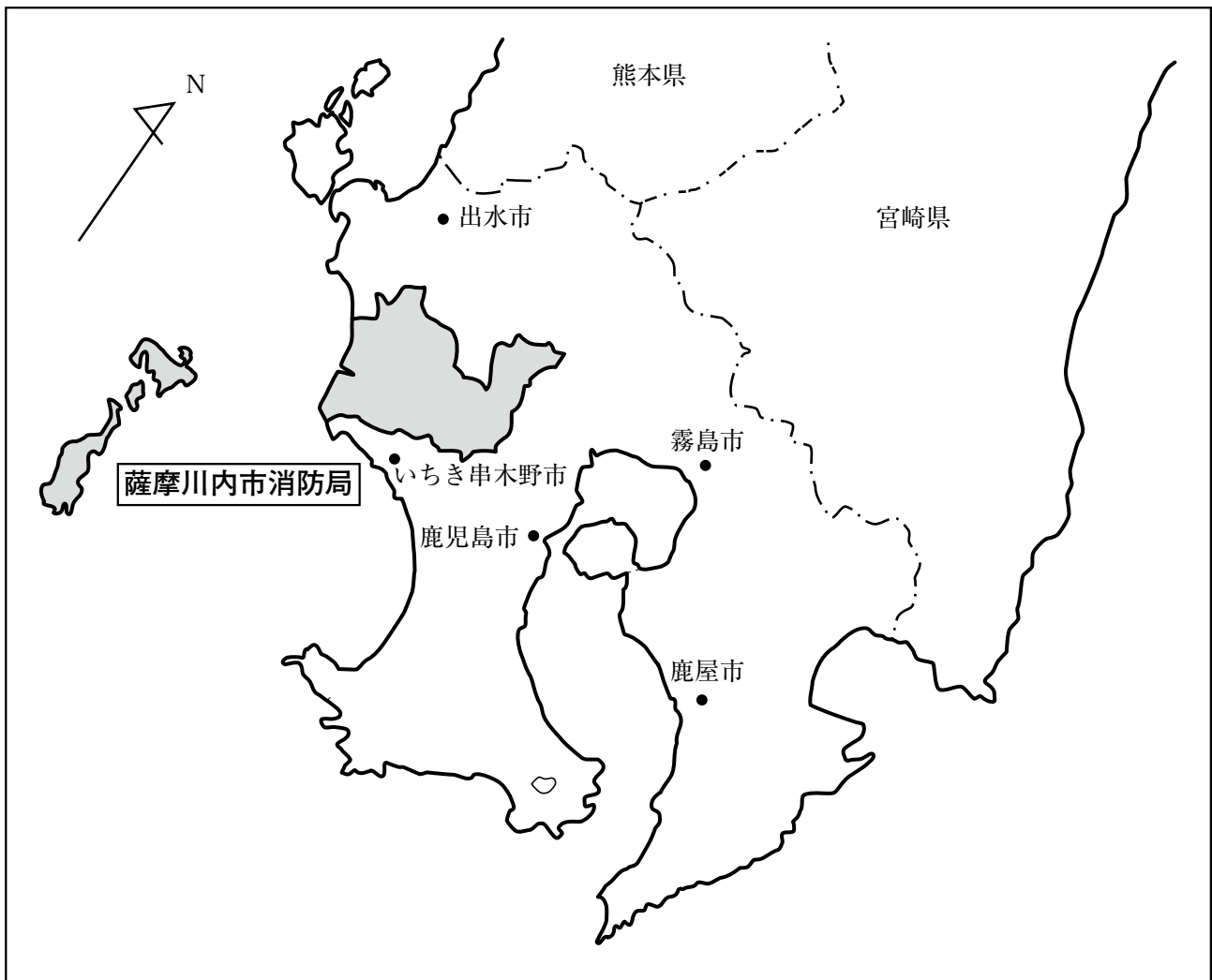
薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甑島、中甑島、下甑島で構成される甑島区域で構成されています。

東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甑島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しています。

本市が有するこれらの多彩で美しい自然環境は、川内川流域県立自然公園、蘭牟田池県立自然公園、甑島県立自然公園に指定され、人々に親しまれています。

この広域に及ぶ当局管内面積は県内では最大の683.50km²である。

消防本部の位置 東経 130° 18′
北緯 31° 49′



2. 消防本部・署の沿革

年 月	概 要
平成16年10月12日	薩摩川内市が誕生し、薩摩川内市消防局発足
10月12日	伊豫田輝雄初代消防局長に就任
10月12日	東部消防署祁答院分署運用開始
11月17日	救急救命士17人となる
平成17年4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から携帯用無線機15式、空気呼吸器1式、空気呼吸器用ボンベ10本の貸与を受ける
5月9日	救急救命士18人となる
6月9日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加（静岡県静岡市清水区）～12日
10月1日	西部消防署高規格救急車等による高度救急業務を開始
11月4日	東部消防署祁答院分署新庁舎落成式挙行（薩摩川内市祁答院町下手43番地1号）
11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（沖縄県うるま市）～24日
11月24日	救急救命士19人となる
平成18年1月15日	伊豫田消防局長退任
1月16日	桑原道男第2代消防局長に就任
2月21日	アステラス製薬株式会社より救急自動車（2B）の寄贈を受ける
4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器用面体40基の貸与を受ける
5月22日	救急救命士21人となる
6月1日	「住宅用火災報知器」の設置が義務づけられる
7月22日	鹿児島県北部豪雨災害（消防職員・消防団員 延1,252名出場）～23日
10月20日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（北九州市）～21日
12月7日	総務省消防庁主催「第9回全国消防広報コンクール」広報紙部門優秀賞受賞
平成19年1月23日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器面体40個、空気呼吸器用ボンベ10本、液晶プロジェクター1台、防護マスクフィルター532個の貸与を受ける
5月14日	救急救命士24人となる
5月16日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
10月12日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（大分県中津市）～13日
平成20年1月14日	桑原消防局長退任
1月15日	上村健一第3代消防局長に就任
4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体10個、エアー担架32基、放射性廃棄物用ドラム缶1個、サーバイメーター用アルミ収納ケース4個、防護マスクフィルター794個、ポケット線量計3個の貸与を受ける
4月28日	救急救命士26人となる
9月12日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練
11月21日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎県佐世保市）～22日
平成21年4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器6式、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、エアー担架5基、防護マスク195個、防護マスクフィルター1000個、防護服（アノラック型、タイベック型）50着、液晶プロジェクター1台、DVDプレーヤー5台、液晶プロジェクターケース1個、ポケット線量計20個、携帯無線機用スピーカーマイク15個の貸与を受ける

年	月	概	要
平成21年	4月14日	救急救命士28人となる	
	8月26日	鹿児島県防災航空隊と合同訓練	
	10月9日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（佐賀県佐賀市）～10日	
	11月16日	東部消防署高規格救急車を更新	
平成22年	2月15日	中央消防署下甕分駐所新庁舎運用開始	
	3月31日	中央消防署南部分署大型高所放水車を更新	
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器面体30個、空気呼吸器用ボンベ10本、デジタルカメラ1台、防護マスクフィルター100個の貸与を受ける	
	4月28日	救急救命士29人となる	
	6月4日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加（愛知県知多市）～5日	
	8月30日	大型化学消防車を更新	
	10月8日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練を実施（鹿児島県薩摩川内市・サテライト会場さつま町）～9日	
	11月10日	支援車I型を総務省消防庁から緊急消防援助隊登録車両として無償貸与を受ける	
	11月29日	東部消防署水槽付ポンプ車を更新	
平成23年	2月24日	泡原液搬送車を更新	
	3月14日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁から派遣要請を受け、延べ20名出場（派遣先：宮城県石巻市）	
	3月23日		
	4月1日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から空気呼吸器2式、空気呼吸器用ボンベ10本、空気呼吸器面体30個、デジタルビデオカメラ1台、ノートパソコン1台、化学防護服2式、防護マスクフィルター600個、防護服（アノラック型）200着、防護服（タイベック型）200着、チオックス手袋40ダース・綿手40ダース、防護靴80足、オーバーシューズ200足の貸与を受ける。	

Ⅱ. 総務



大型化学車



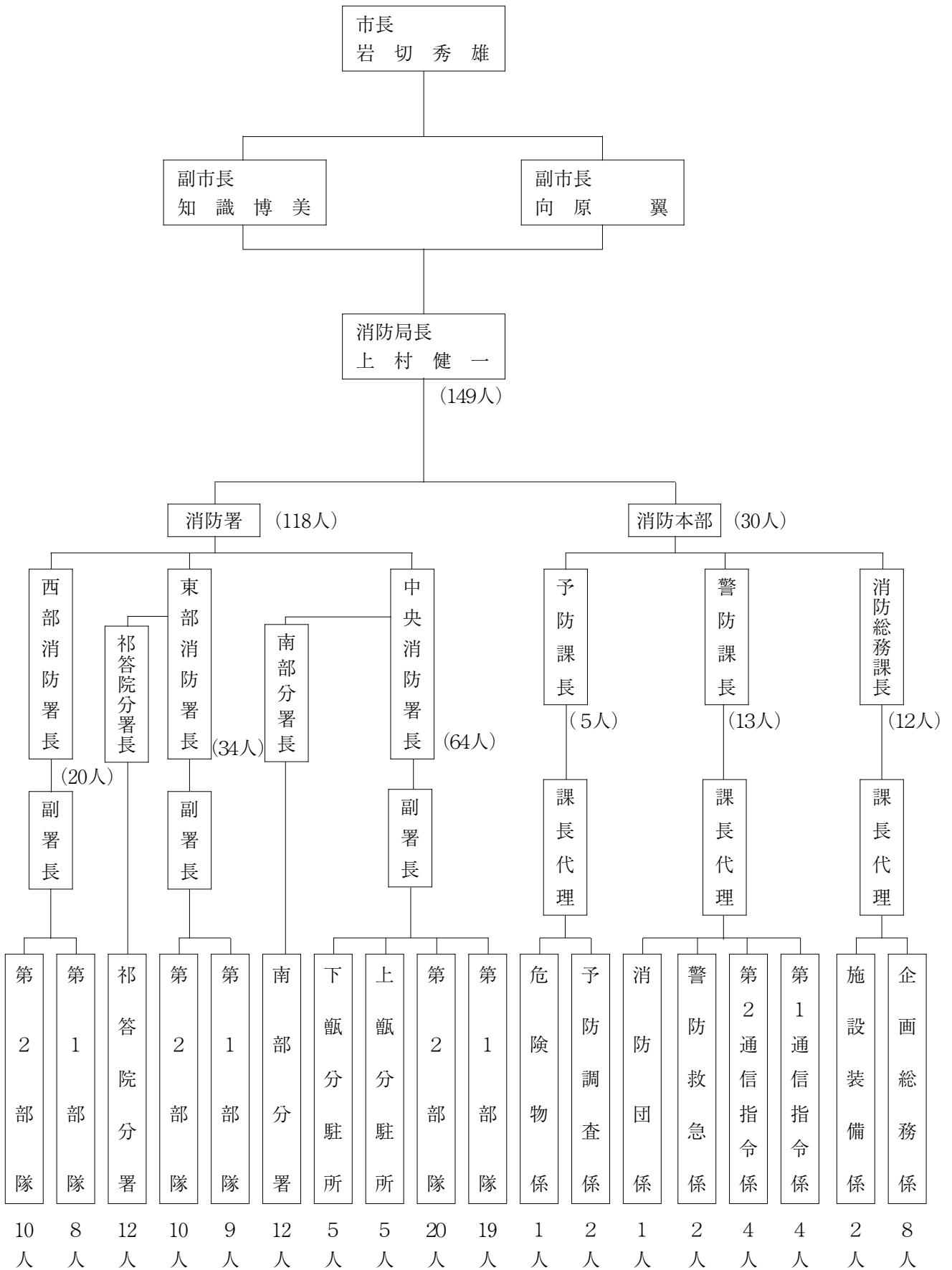
支援車 I 型



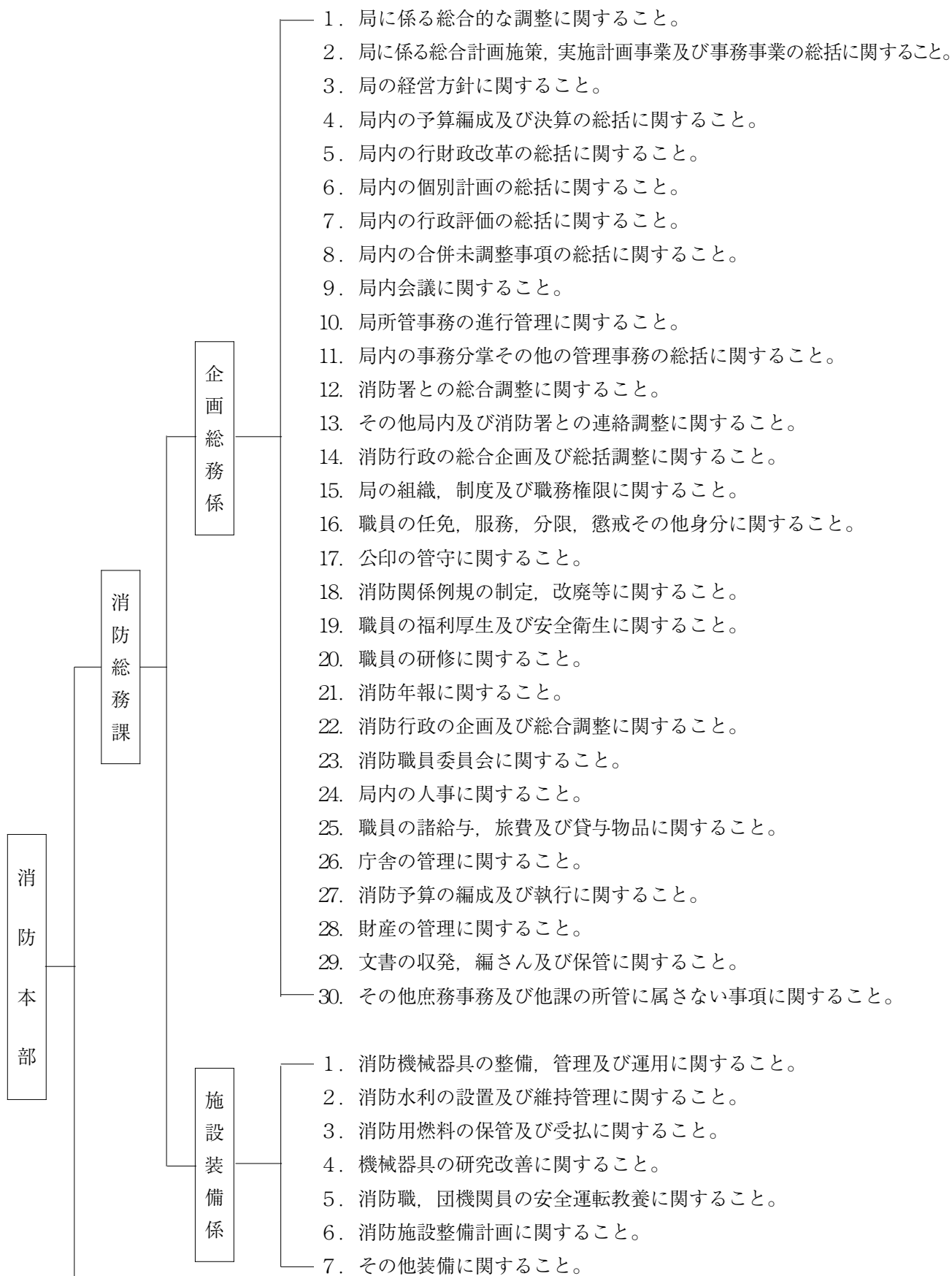
市比野中央分団ポンプ車

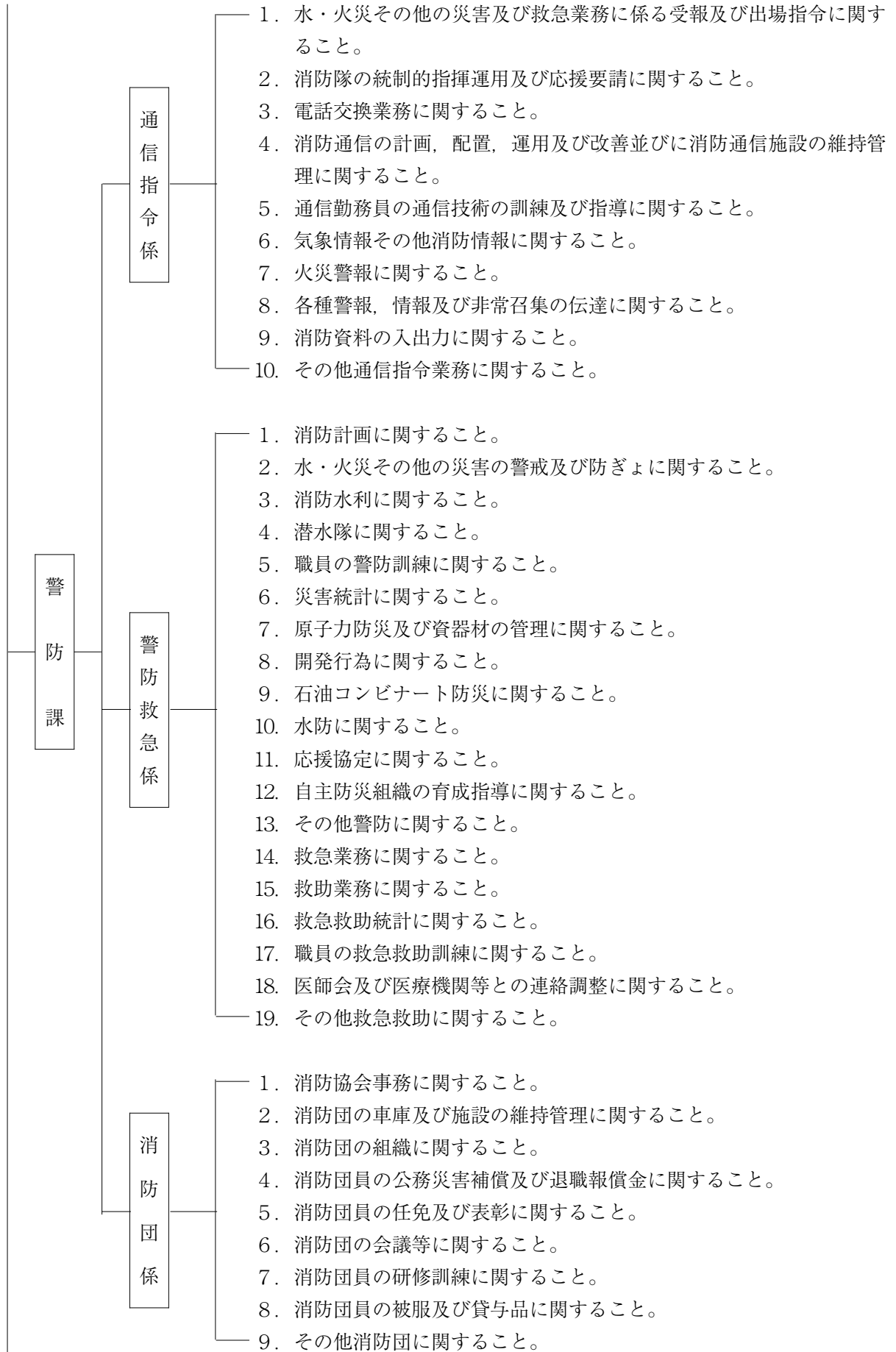
1. 薩摩川内市消防局の組織

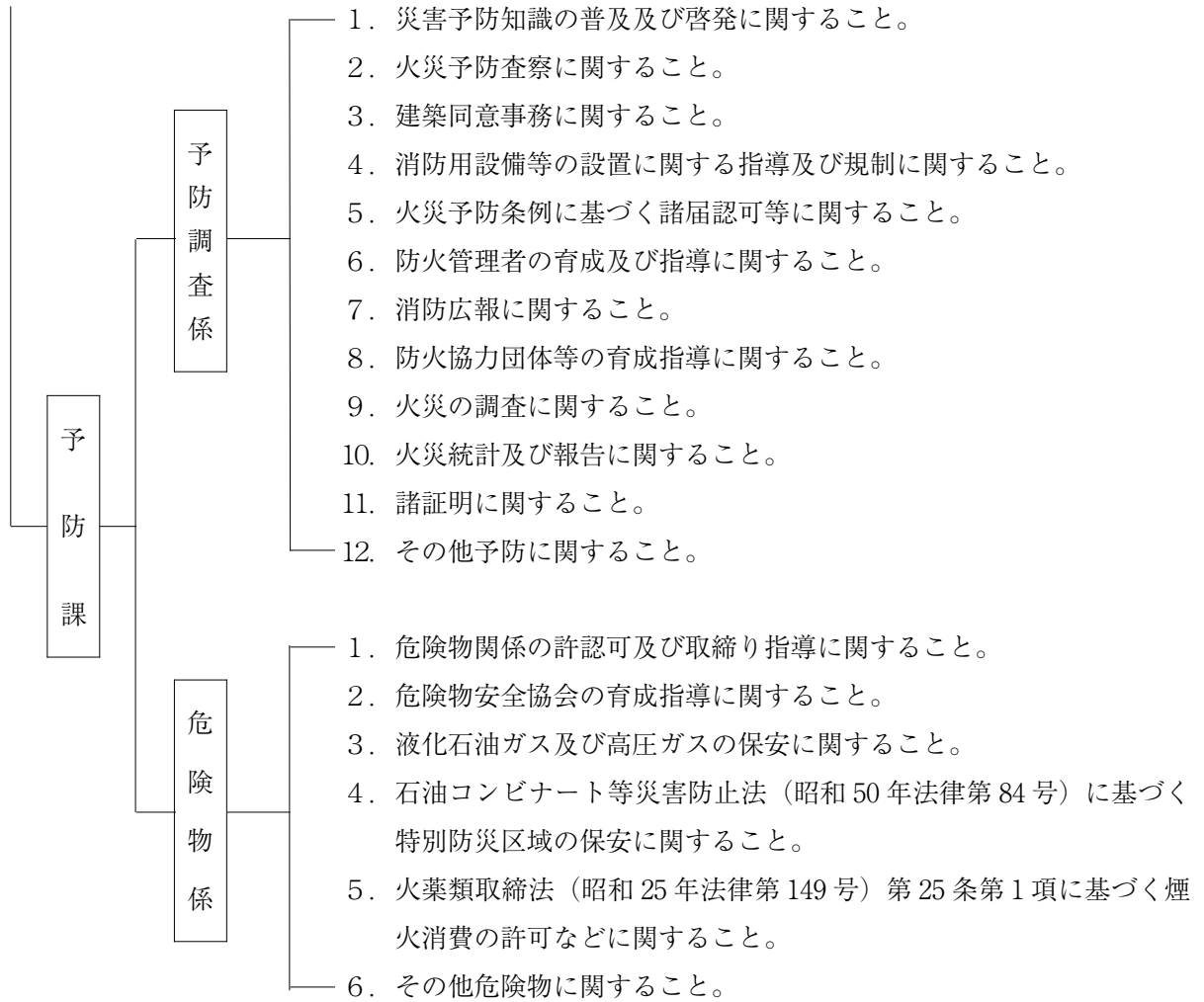
H 23. 4. 1 現在

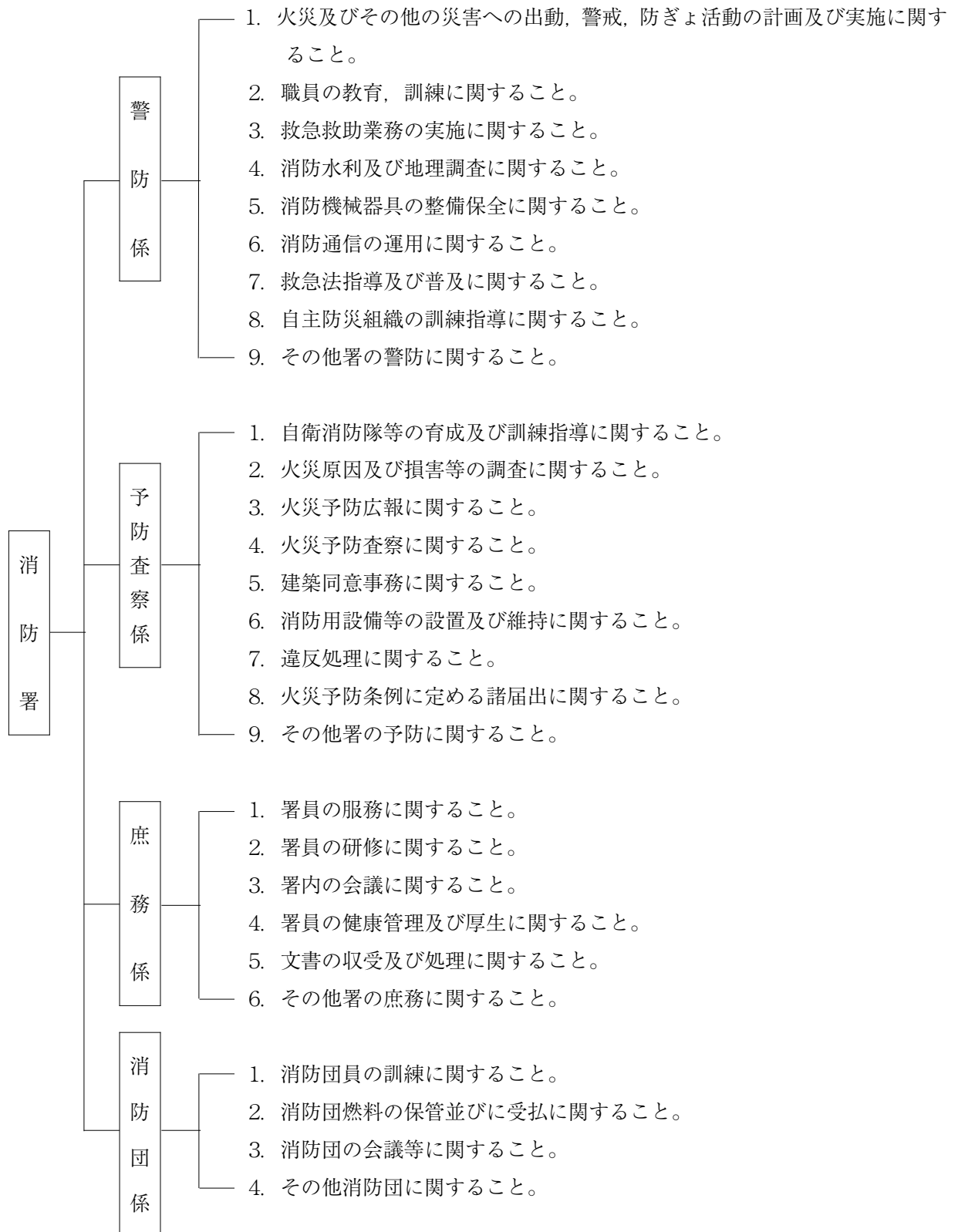


2. 消防本部・署の事務分掌









3. 消防庁舎の概要

H 23. 4. 1 現在

区分 名称	所在地	敷地面積 m ²	構造	延面積 m ²	完成年月日	電話
消防局消防本部 中央消防署	薩摩川内市原田町 22番10号	2,986	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部塔屋)	※ 1,471	※ S 53. 3.30	0996 22-0119
南部分署	〃 若松町 8番20号	565	鉄骨造 2 階 建	560	H 4. 3.26	0996 23-1360
上甌分駐所	〃 上甌町中甌 481番地1	140	鉄筋コンクリート 造 2 階 建	164	S 57. 2.24	09969 2-0377
上甌消防吏員 待機宿舎	〃 〃 490番地5	227	〃	124	S 57. 2.23	
上甌消防吏員 待機宿舎	〃 〃 728番地	256	木造平屋	70	H 12. 3.10	
下甌分駐所	〃 下甌町長浜 913番地3	813	鉄筋コンクリート 造 平 屋 建	199	H 22. 2.15	09969 5-1057
下甌消防吏員 待機宿舎	〃 〃 1232番地4	333	鉄筋コンクリート 造 2 階 建	124	S 57. 2.24	
下甌消防吏員 待機宿舎	〃 〃 187番地2	205	木造平屋	70	H 12. 3.10	
東部消防署	〃 入来町浦之名 727番地2	5,008	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部5階)	543	S 58. 3.18	0996 44-3390
東部消防署 消毒室	〃 〃 727番地2	5,008	木造平屋	19	H 19.12. 7	
祁答院分署	〃 祁答院町下手 43番地1	1,378	鉄骨造 2 階 建	423	H 17.10.28	0996 21-8260
西部消防署	〃 水引町 3397番地2	3,004	鉄筋コンクリート 造 2 階 建 (一部塔屋)	835	S 59. 3.26	0996 26-3524
西部消防署 消毒室	〃 〃 3397番地2	3,004	木造平屋	17	H 22. 3. 9	

※ (S 62. 3.28. 261m²増築)

4. 消防大学校・県消防学校等入校状況

H 22. 4. 1 ~ H23. 3. 31

機 関 名	研 修 科 目	研 修 期 間	人 員 (人)
消 防 大 学 校	第 19 期火災調査科	平成 22 年 5 月 31 日～平成 22 年 7 月 22 日	1
	第 89 期予防科	平成 23 年 1 月 11 日～平成 23 年 3 月 4 日	1
救 急 救 命 九 州 研 修 所	平成 22 年度薬剤投与追加講習第 1 期	平成 22 年 4 月 9 日～平成 22 年 5 月 21 日	1
	平成 22 年度薬剤投与追加講習第 2 期	平成 22 年 6 月 3 日～平成 22 年 7 月 9 日	1
	第 27 期救急救命士研修	平成 22 年 9 月 9 日～平成 23 年 3 月 22 日	1
鹿 児 島 県 消 防 学 校	第 66 期初任科	平成 22 年 4 月 7 日～平成 22 年 9 月 16 日	1
	第 15 期操法審査員研修	平成 22 年 4 月 19 日～平成 22 年 4 月 20 日	4
	第 15 期操法審査員研修	平成 22 年 4 月 22 日～平成 22 年 4 月 23 日	4
	第 15 期救助科	平成 22 年 10 月 13 日～平成 22 年 11 月 9 日	4
	第 8 期火災調査科	平成 22 年 12 月 1 日～平成 22 年 12 月 15 日	3
	第 14 期救急科	平成 23 年 1 月 12 日～平成 23 年 3 月 4 日	5
九州消防長会（福岡市）	九州地区警防実務研修会	平成 22 年 12 月 2 日～平成 22 年 12 月 17 日	1
鹿 児 島 県 消 防 長 会	合同消防実務研修	平成 22 年 10 月 21 日	3
薩摩川内地区安全運転管理協議会	安全運転管理者等の法定講習	平成 22 年 8 月 25 日	4
（財）九州電気保安協会	電気主任技術者実務講習会	平成 22 年 10 月 14 日	1
鹿 児 島 県 海 技 免 許 セ ン タ ー	小型船舶操縦士（二級）免許講習会	平成 23 年 3 月 19 日～平成 23 年 3 月 20 日	1
鹿 児 島 県 労 働 基 準 協 会	小型移動式クレーン運転技能講習	平成 23 年 3 月 7 日～平成 23 年 3 月 9 日	2
川 内 市 医 師 会 立 市 民 病 院	救急救命士気管挿管実習	平成 22 年 4 月 12 日～平成 22 年 6 月 29 日	1
		平成 22 年 7 月 12 日～平成 22 年 9 月 29 日	1

5. 職員の階級別年齢状況

H 23. 4. 1 現在 (単位：人)

年齢	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	その他	総数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
18歳							1		1												
19歳							2		2												
20歳							1		1												
21歳							1		1												
22歳							2		2												
23歳							4		4												
24歳							4	1	5												
25歳							5	4	9												
26歳							3		3												
27歳							2		2												
28歳						1	2		3												
29歳						1	1		2												
30歳						2			2												
31歳						3	1		4												
32歳						5	1		6												
33歳						5	1	2	8												
34歳						6	1	1	8												
35歳						2			2												
36歳						5			5												
37歳						2			2												
38歳						4			4												
39歳						3			3												
40歳						1			1												
41歳					1				1												
42歳					1	3			4												
43歳					4				4												
44歳					1	2			3												
45歳					2				2												
46歳					5	3			8												
47歳			1	6	1				8												
48歳			1						1												
49歳			1	4	1				6												
50歳				5	1				6												
51歳		1	4	3					8												
52歳		1	4	1					6												
53歳			2						2												
54歳																					
55歳			1						1												
56歳			2						2												
57歳	1		3						4												
58歳		1							1												
59歳		1		1					2												
合計	1	4	19	34	51	17	20	3	149												
平均年齢	57.0	55.0	52.6	47.4	36.7	27.7	22.7	33.3	38.8												

6. 職員の勤続年数状況

H 23. 4. 1 現在 (単位：人)

年 数	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他	総 数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
1年未満							3	1	4												
1～2							1		1												
2～3							3	1	4												
3～4					1		6		7												
4～5						1	5	1	7												
5～6						1	2		3												
6～7					2	4			6												
7～8					7	3			10												
8～9						2			2												
9～10						2			2												
10～11																					
11～12					2				2												
12～13					5				5												
13～14					2	2			4												
14～15					3	1			4												
15～16					2	1			3												
16～17					6				6												
17～18																					
18～19					7				7												
19～20	1			1	2				4												
20～21																					
21～22					2				2												
22～23																					
23～24																					
24～25				3	3				6												
25～26				4	1				5												
26～27				3	3				6												
27～28			1	3					4												
28～29			1	10	3				14												
29～30			6	5					11												
30～31		2	7	5					14												
31～32																					
32～33																					
33～34			2						2												
34～35			2						2												
35以上		2							2												
合 計	1	4	19	34	51	17	20	3	149												
平 均 数	19.0	35.0	30.2	27.2	15.8	8.4	2.8	2.0	17.9												

7. 職員の配置状況

H 23. 4. 1 現在 (単位: 人)

所 属		区 分	計	消 防 職 員							
				消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
局		長	1	1							
次		長									
消 防 本 部	消 防 総 務 課	課 長	1	1							
		課長代理兼施設装備係長	1		1						
		企 画 総 務 係	8		1		2		3	2	
		施 設 装 備 係	2				1				1
		小 計	12		1	2	1	2		3	3
	警 防 課	課 長	1		1						
		課長代理兼消防団係長	1			1					
		第 1 通 信 指 令 係	4				2	2			
		第 2 通 信 指 令 係	4				2	2			
		警 防 救 急 係	2				1		1		
消 防 団 係		1				1					
小 計	13		1	1	6	4	1				
予 防 課	課 長	1			1						
	課長代理兼危険物係長	1			1						
	予 防 調 査 係	2				2					
	危 険 物 係	1				1					
	小 計	5			2	3					
計			30		2	5	10	6	1	3	3
消 防 署	中 央 消 防 署		41		1	5	10	11	6	8	
	南 部 分 署		13			1	3	6	2	1	
	上 甌 分 駐 所		5			1	1	3			
	下 甌 分 駐 所		5			1		4			
	東 部 消 防 署		21			3	5	7	3	3	
	祁 答 院 分 署		13			2	2	5	3	1	
	西 部 消 防 署		20		1	1	3	9	2	4	
	計		118		2	14	24	45	16	17	
合 計		149		1	4	19	34	51	17	20	3

8. 薩摩川内市消防局相互応援協定

H 23. 4. 1 現在

番号	協 定 先 名	協 定 の 種 類	締 結 年 月 日
①	鹿 児 島 市 消 防 局	火 災	18. 8. 1
		救 急	21. 10. 1
②	さ つ ま 町 消 防 本 部	火 災 ・ 救 急	17. 4. 1
③	い ち き 串 木 野 市 消 防 本 部	火 災 ・ 救 急	17. 11. 18
④	阿 久 根 地 区 消 防 組 合	火 災 ・ 救 急	18. 9. 1
⑤	串 木 野 海 上 保 安 部	船 舶 火 災	16. 10. 12
⑥	出 水 市 消 防 本 部	火 災 ・ 救 急	18. 10. 1
⑦	始 良 市 消 防 本 部	火 災 ・ 救 急	22. 3. 23
⑧	日 置 市 消 防 本 部	火 災 ・ 救 急	17. 11. 18
※	県 下 市 町 村 及 び 消 防 本 部	大 規 模 災 害 等	18. 10. 25



9. 予算の比較

H 23. 4. 1 現在 (単位：千円)

年次	市一般会計予算	消 防 費	一般会計予算に対する割合 (%)
平成 23 年度	51,420,000	2,668,486 (1,641,962)	5.2 (3.2)
平成 22 年度	49,880,000	2,230,927 (1,553,714)	4.4 (3.1)

※ () については、消防局所管分

10. 消防費と人口の比較

H 23. 4. 1 現在 (単位：円)

区分	消 防 費	1 世帯当たり	1 人 当 たり
予 算 額	2,668,486,000 (1,641,962,000)	58,498 (35,995)	26,611 (16,374)

※ () については、消防局所管分



















11. 消防費の内訳

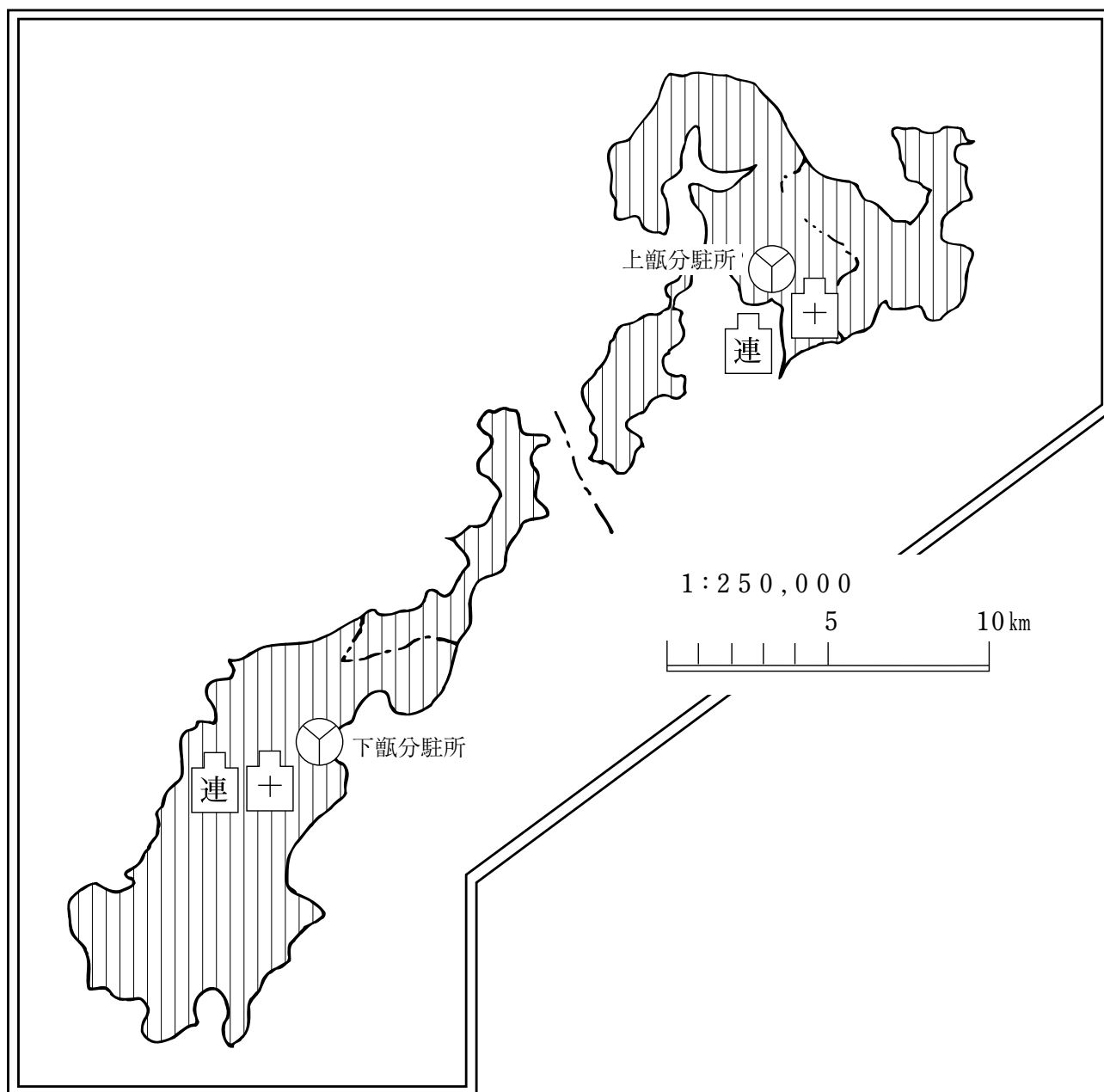
H 23. 4. 1 現在 (単位：千円)




区 分		平成 23 年度当初予算額
消 防 局 所 管 分	常 備 消 防 費	1,235,176
	人 件 費	1,155,848
	報 償 費	363
	旅 費	7,192
	需 要 費	32,311
	役 務 費	10,644
	委 託 料	10,401
	使 用 料 及 び 賃 借 料	1,592
	工 事 請 負 費	500
	備 品 購 入 費	9,554
	負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	5,662
	公 課 費	1,109
	常 備 消 防 施 設 費	148,000
	役 務 費	61
委 託 料 ・ 工 事 請 負 費	98,000	
備 品 購 入 費 ・ 公 課 費	49,939	
非 常 備 消 防 費	175,421	
非 常 備 消 防 施 設 費	83,365	
計	1,641,962	
水 防 費	403	
災 害 対 策 費	1,026,121	
合 計	2,668,486	

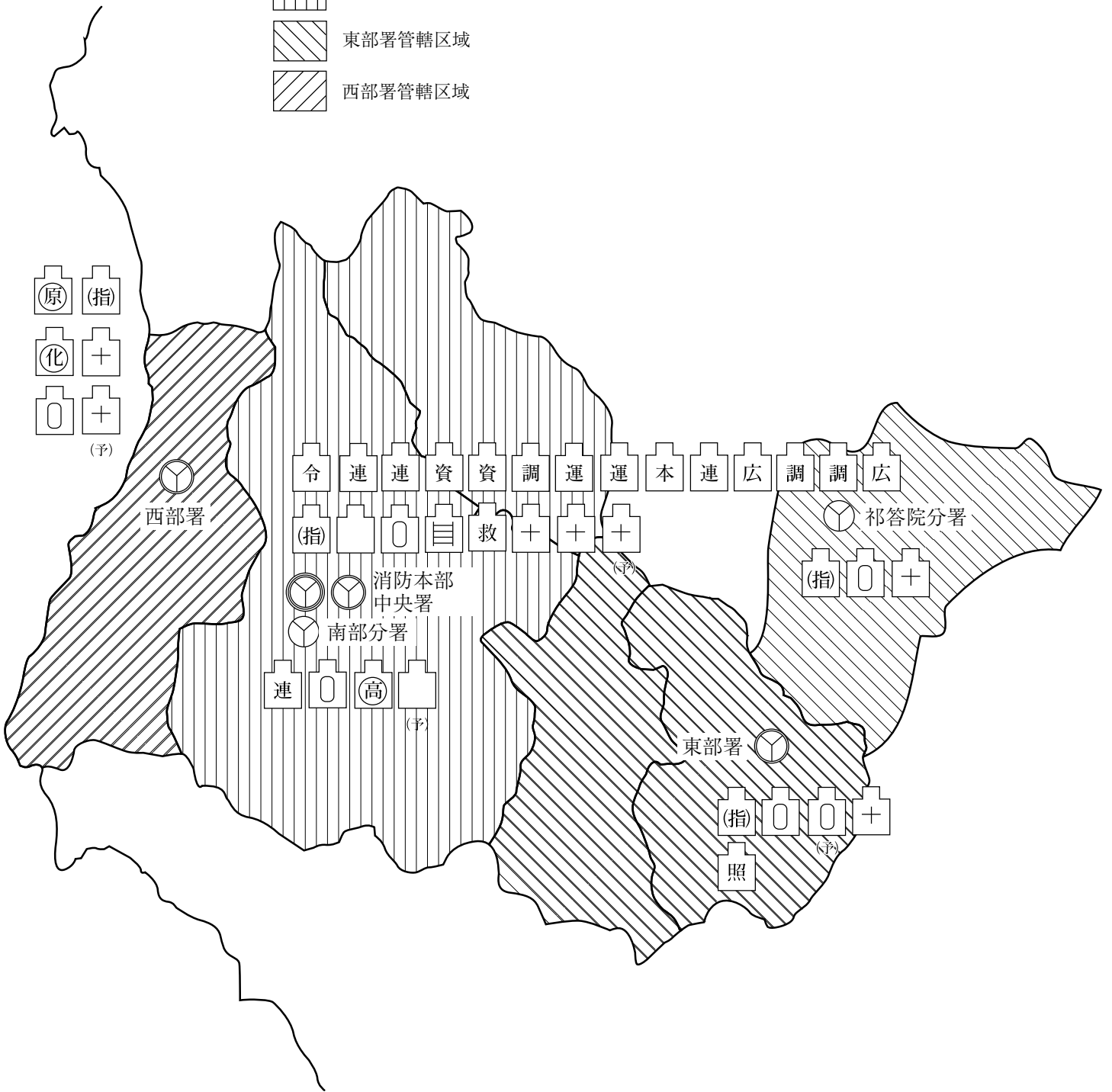
12. 薩摩川内市消防局（常備）消防分布図

H 23. 4. 1 現在

 消防ポンプ自動車	 大型高所放水車	 指揮車
 水槽付ポンプ自動車	 大型化学車	 連絡車
 梯子車	 泡原液搬送車	 防火広報車 (訓練指導車含む)
 救急車 (高規格救急車含む)	 救助工作車	 調査車
 資機材搬送車	 指令車	 運搬車 (軽車両含む)
 照明車	 指揮広報車	 本部指揮車



-  中央署管轄区域
-  東部署管轄区域
-  西部署管轄区域



13. 消防職員特殊技能その他資格取得状況

H23. 4. 1 現在 (単位：人)

種別		階級	消 防 吏 員							事務 吏員	合計
			消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士		
自動車運転免許	一種	大 型		4	19	34	51	17	13		138
		中 型					1		1		2
		普 通	1	4	19	34	51	17	20	3	149
		大 型 特 殊			2	3	2	1			8
		引 込			1	1	2				4
	二種	大 型				7	7		1		15
	普 通				2	8				10	
	自 動 二 輪			8	17	31	10	6		72	
救 急 救 命 士				2	9	13		6		30	
応 急 手 当 指 導 員				7	12	8				27	
薬 剤 投 与 認 定				2	4	6		3		15	
気 管 挿 管 認 定				2	9	7				18	
自 動 車 整 備 士 3 級						1				1	
移 動 式 クレーン 運 転 士						1				1	
小 型 移 動 式 クレーン 技 能 講 習			1	8	18	9				36	
玉 掛 技 能 講 習			1	4	7	8				20	
消 防 設 備 士	甲 種 第 4 類				1	1				2	
	乙 種 第 4 類		1		3	2	2			8	
	乙 種 第 5 類					1				1	
	乙 種 第 6 類				1	2	3			6	
	乙 種 第 7 類					2				2	
第 2 種 消 防 設 備 点 検 資 格 者					1					1	
危 険 物 取 扱 者	乙 種	第 1 類			2	1	4	1	1	9	
		第 2 類			2	1	2	1		6	
		第 3 類			2	3	2	1		8	
		第 4 類	2	17	18	42	17	11		107	
		第 5 類		2	2	2	2			8	
	第 6 類		1	1	2	1			5		
丙 種			1	2	2				5		
陸 上 特 殊 無 線 技 師	2 級		3	8	5			1		17	
	3 級				1	19	8			28	
アマチュア無線技師第4級			1	5	9	1				16	
電 気 工 事 士				1	2	4	3	2		12	
認 定 電 気 工 事 従 事 者							1			1	
毒 ・ 劇 物 取 扱 者				1		1				2	
ガ ス 溶 接 技 能 講 習				1	3	1				5	
アーク溶接特別教育				1	1					2	
ボ イ ラ ー 技 士 2 級				2				1		3	
小 型 船 舶 操 縦 士	1 級			2	3	1				6	
	2 級		1	6	10	2				19	
潜 水 士				3	6	14	3	1		27	
車 両 建 設 機 械 技 能 講 習					1	2				3	
小 型 車 両 建 設 機 械 技 能 講 習				1	7	4				12	
石 油 機 器 技 術 管 理 士				1	2					3	
視 聴 覚 教 育 指 導 者				1	2	1			1	5	
1 6 mm 映 写 技 士			1	2	2				1	6	
宅 地 建 物 取 引 主 任 者				1						1	
高 圧 ガ ス 販 売 主 任 者			1							1	
特 定 科 学 物 質 作 業 主 任 者					3					3	
防 火 対 象 物 点 検 資 格 者					1					1	
予 防 技 術 者 資 格 者	防 火 査 察		1	5	3	3	2	1		15	
	消 防 用 設 備 等		1	5	3	1				10	
	危 険 物		2	5	1					8	
防 災 士		1	2	2	4					9	

III. 予 防



特別査察



防火管理者新規講習



火災原因調査

1. 地域別火災発生状況

H 22. 1. 1 ~ H 22. 12. 31

区分	地域別		川	内	樋	脇	入	来	東	郷	祁	答	院	里	上	甌	下	甌	鹿	島	計
	火災	件数																			
火	建物	火災	41	19	5	7	2	3	2	1	1	2	1	2	1	2	63				
火	林野	火災	1	2	2	1	1	1									25				
災	車両	火災	2														4				
種	船舶	火災															2				
別	その他		19	1	1	5	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	32				
り	爆発	火災																			
り	住家		14	2	2	1	1	2	1	1	2	2	2	1	1	21					
り	非住家		13	1	1	1	1	1								15					
り	世帯	数	15	2	2	1	1	1			1	1	1		1	21					
り	人員	数	37	3	3	3	3	3			1	1	1		2	47					
焼失面積	建物	床面積 (㎡)	1,150	21	63	51		283							1	1,616					
	林野等 (a)	表面積 (㎡)			3											22					
死傷者	死者		1	1	1											3					
	傷者		14										1		1	2					
損害額	建物	物 (千円)	50,211	1,904	553	5,416	26	2,601	26	2601	60,711										
	林野	〃									0										
	車両	〃	171								171										
	船舶	〃									0										
	その他	〃	160	1					750		953										
爆発	〃									0											
計			50,542	1,905	553	5,416	26	2,601	26	2,601	61,835										

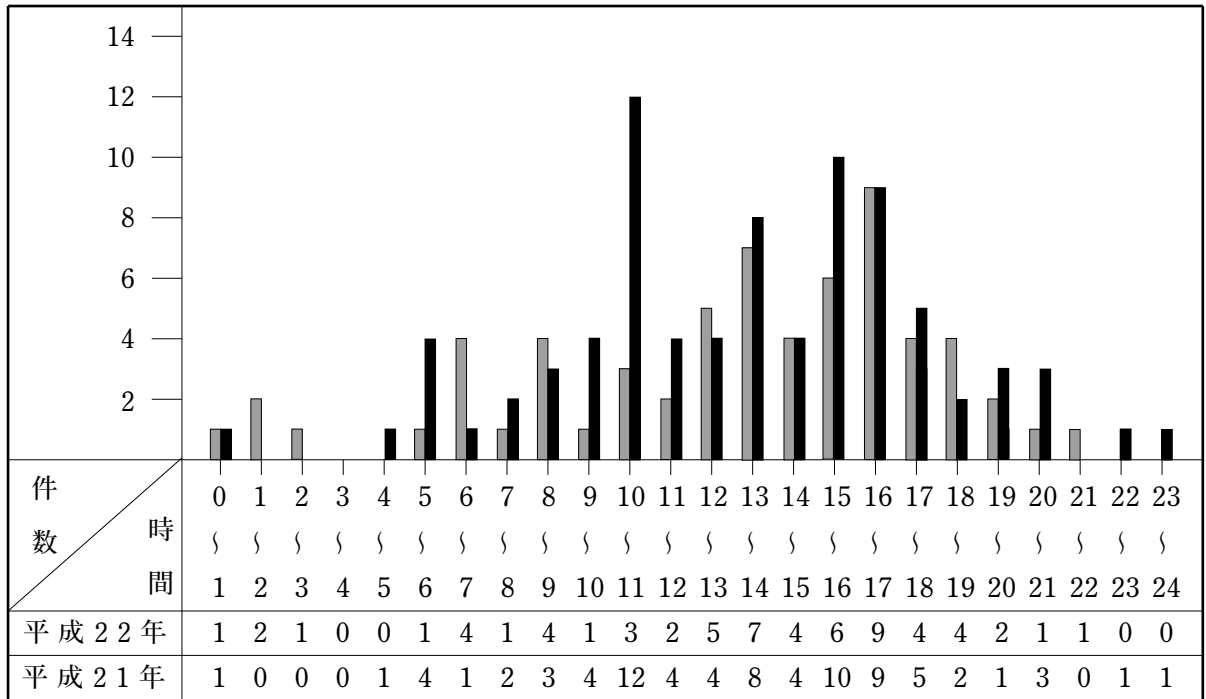
2. 月別火災発生状況

H 22. 1. 1 ~ H 22. 12. 31

区 分 月 別	発 生 件 数				損 害 額 (千 円)				焼 損 棟 数				り 災 世 帯 数	り 災 人 員 数	死 傷 者 数	焼 失 面 積		林 野 筭 ^{a)}		
	建 物	野 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	よ や	非 住 家				住 家	部 分 焼		よ や	建 物
1	2						16,766					2	16,766			1	46			
2	4	1			4	158	6,011					9	6,011	1	1	2	102	19		
3	3				4	42	518					7	518	1	2		26			
4		1			2							3								
5	2	1	1		8	1	200		111			12	200			1	20		2	
6	5				4	1	7,607					9	7,607	2	3		161	2		
7	1						16,042					1	16,042	1		5	672			
8	1				2		50					3	50							
9	2				2	750	703					4	703		1	1	51			
10	2						4,771					2	4,771	2		1	186			
11	1	1			5	1	26					7	26						1	1
12	2		1		1		8,017		60			4	8,017	3			352			
計	25	4	2		32	953	61,835	9	171		63	60,711	9	5	7	9	1,616	22	3	

3. 時間別火災発生状況

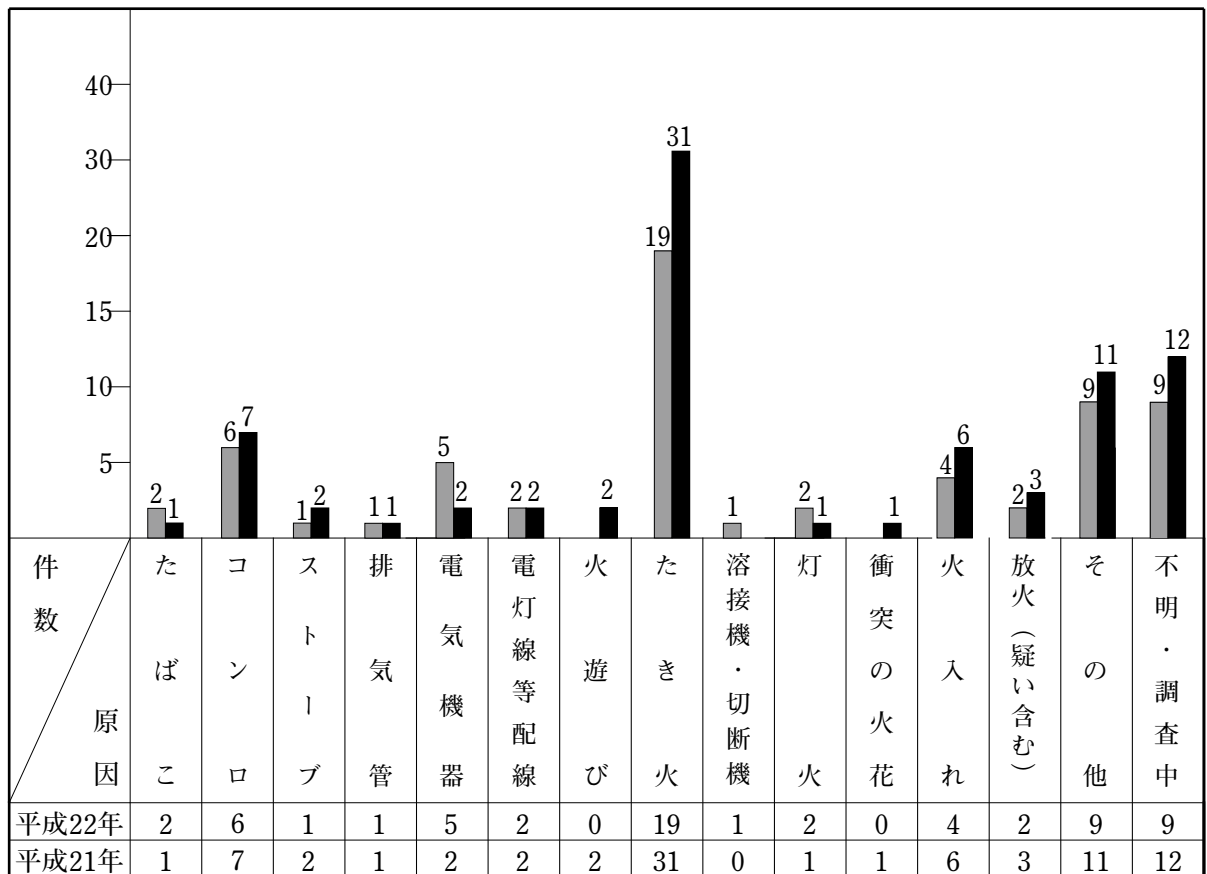
平成22年 平成21年



合計件数 平成22年 63件
平成21年 80件（不明2）

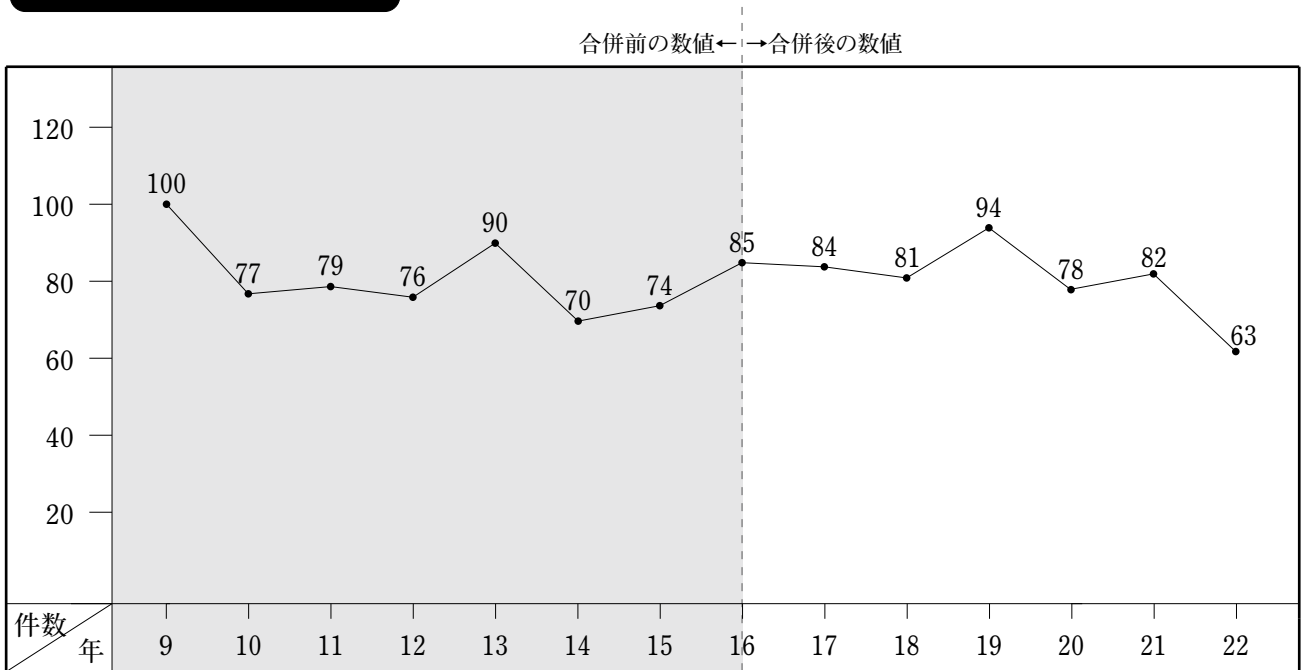
4. 原因別火災発生状況

平成22年 平成21年



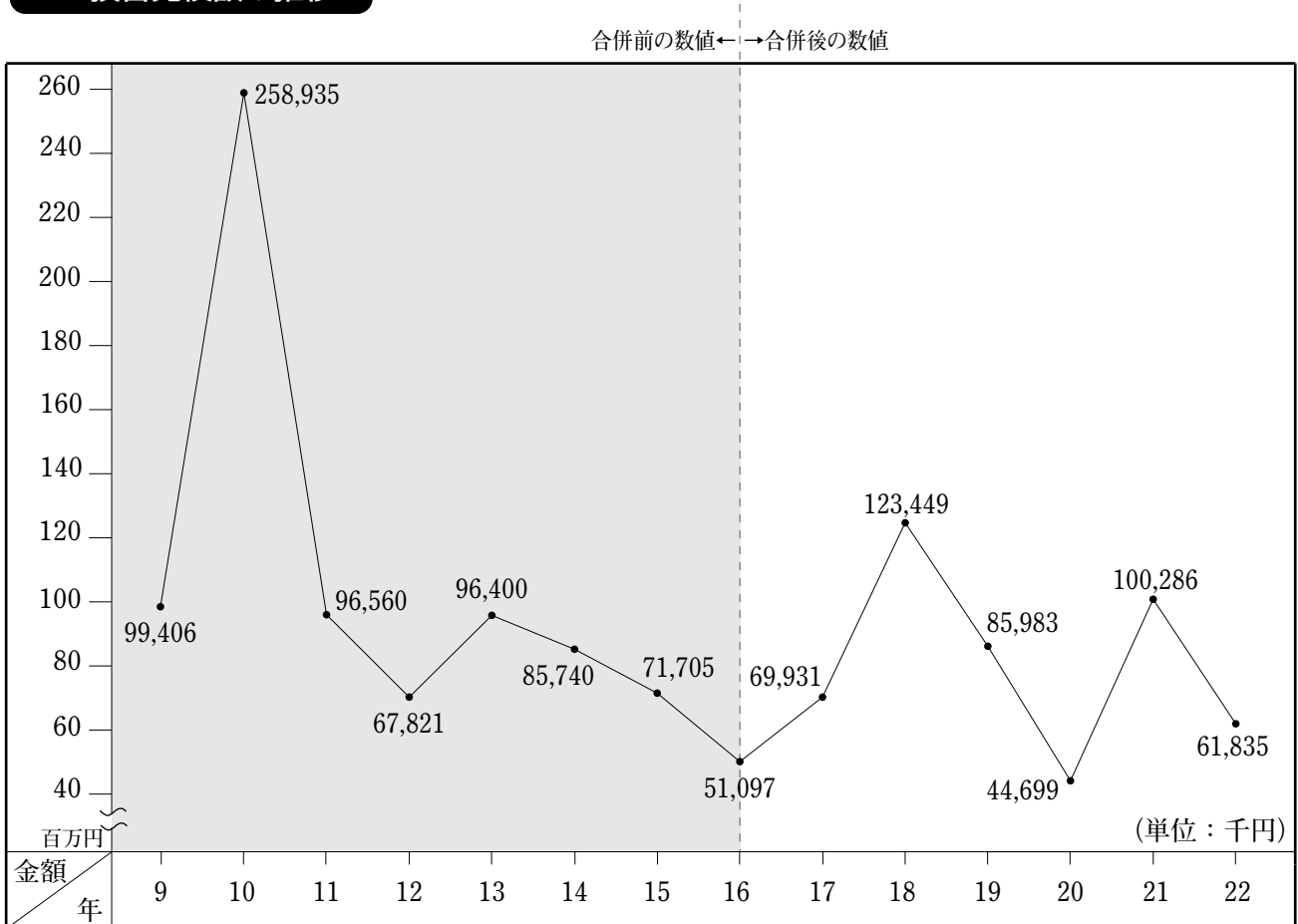
合計件数 平成22年 63件
平成21年 82件

5. 火災発生件数の推移



※合併前の数値（祁答院地区を除いたもの）

6. 損害見積額の推移



※合併前の数値（祁答院地区を除いたもの）

7. 防火対象物現況

H 23. 4. 1 現在

区 分		署 所	中 央	東 部	西 部	上 甌	下 甌	計
			消 防 署 (含南部分署)	消 防 署 (含祁谷院分署)	消 防 署	分 駐 所	分 駐 所	
1	イ	劇場・観覧場類	5					5
	ロ	分会堂・集会場類	13	6	1	4	2	26
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ類						
	ロ	遊技場・ダンスホール	17	1		1		19
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	待合・料理店類						
	ロ	飲食店	54	9	3			66
4		百貨店・物品販売店舗	120	18	4	2	3	147
5	イ	旅館・ホテル類	39	22	11	7	18	97
	ロ	寄宿舎・共同住宅類	744	50	5	20	30	849
6	イ	病院・診療所又は助産所	82	16	2	3	4	107
	ロ	老人短期入所施設等	31	17	4	3	3	58
	ハ	老人デイサービスセンター等	59	11	10	1	2	83
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	11	15	1	1	2	30
7		学校	145	49	22	3	20	239
8		図書館・博物館類	4	4	4		1	13
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場類						
	ロ	イに掲げるもの以外の公衆浴場	3	5	5			13
10		車両の停車場			1	2	3	6
11		神社・寺院・教会類	23	11	8	7	8	57
12	イ	工場・作業場	331	131	84	9	6	561
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	26	16	11		1	54
	ロ	飛行機の格納庫						
14		倉庫	168	54	57	9	6	294
15		前各号に該当しない事業場	305	242	81	28	33	689
16	イ	前1～4・5イ・6・9の存する複 合用途防火対象物	240	32	8	9	4	293
	ロ	イに掲げるもの以外の複合用途防 火対象物	151	15	12	4	4	186
18		アーケード	5					5
計			2,576	724	334	113	150	3,897

8. 建築同意事務処理状況

H 22. 4. 1 ~ H 23. 3. 31

区分 \ 署別	中央消防署 (含南部分署) (上甌・下甌分駐所)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	計
新 築	92	18	7	117
増 築	24		4	28
改 築				
移 転	1			1
修 繕				
模 様 替				
用 途 変 更	5		1	6
そ の 他				
合 計	122	18	12	152

建築申請通知 (一般住宅)	376	26	10	412
---------------	-----	----	----	-----

9. 防火対象物定期点検報告制度実施状況

H 22. 4. 1～H 23. 3. 31

防火対象物の区分		防火対象物数定期点検報告制度実施状況									
		該 当 数		点 検 報 告 済		特 例 認 定 済		一 部 点 検 済 又 は 特 例 認 定 済		未 実 施 又 は 特 例 認 定 申 請 中	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
1項	イ	1				1					
	ロ	15		7		7				1	
2項	イ										
	ロ	10		7		2				1	
	ハ ニ										
3項	イ										
	ロ	2	3	2	1						2
4項		13	1	4		6				3	1
5項	イ	8	5	3	1	3	2			2	2
6項	イ	3	2		1	2				1	1
	ロ										
	ハ	1				1					
	ニ										
9項	イ										
16項	イ	14	4	3	4	7		1		3	
16項の2											
合 計		67	15	26	7	29	2	1		11	6

※1号とは、消防法施行令第4条の2の2の1号に定める人員300人以上のもの。

※2号とは、同第2号に定める特定1階段等防火対象物

10. 中高層建築物一覧表

H 23. 4. 1現在

階 数	署 別	署 別					計
		中央消防署 (含南部分署)	東部消防署 (含祁答院分署)	西部消防署	上甌分駐所	下甌分駐所	
3	階	361	35	13	18	26	453
4	階	194	16	4			214
5	階	57	8	4		3	72
6	階	9	3	2	1		15
7	階	5					5
8	階	2					2
11	階	1					1
12	階	1					1
14	階	1	1				2
15	階	2					2
合	計	633	63	23	19	29	767

11. 諸届出書の処理状況

H 22. 4. 1 ~ H 23. 3. 31

種 類	署 所	件 数						合 計
		中央 消防署 (含南部分署)	東部 消防署	祁 答 院 分 署	西 部 消 防 署	上 甌 分 駐 所	下 甌 分 駐 所	
薩摩川内市火災予防条例関係	防火対象物使用開始届出書	34	2	2	4			42
	炉・厨房設備・ボイラー等設置届出書	11	2		1		1	15
	発電・変電・蓄電池設備設置届出書	27	5	6	4		1	43
	ネオン管灯設備設置届出書	1						1
	水素ガスを充てんする気球の設置届	1						1
	火災と紛らわしい煙等を発するおそれのある行為等の届出書	89	91	31	9	2	3	225
	煙火の打上・仕掛け届出書	57	17	5	10	3	2	94
	催物開催届出書	9	1					10
	水道断減水届出書							
	道路工事届出書	494	116	36	52	16	57	771
	指定洞道等設置届出書				1			1
	少量危険物・指定可燃物貯蔵届出書	7	6		4	1	1	19
消防法関係	液化石油ガス等の貯蔵又は取扱い届出書	49	5		4		1	57
	消防用設備等着工届出書	100	10	9	10	4	3	136
	消防用設備等設置届出書	144	15	15	16	10	6	206
	防火管理者選解任届出書	97	21	9	7	4	4	142
	消防計画作成変更届出書	109	21	14	9	4	8	165

12. 予防査察実施状況

H 22. 4. 1～H 23. 3. 31

区 分		署 所	中 央 消 防 署 (含南部分署)	東 部 消 防 署 (含院分署)	西 部 消 防 署	上 甌 分 駐 所	下 甌 分 駐 所	計
1	イ	劇場・観覧場類						
	ロ	分会堂・集会場類	5	6		1		12
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ類						
	ロ	遊技場・ダンスホール	8			1		9
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	待合・料理店類						
	ロ	飲食店	5	1				6
4		百貨店・物品販売店舗	10	9		2		21
5	イ	旅館・ホテル類	19	10	7	1		37
	ロ	寄宿舎・共同住宅類		2				2
6	イ	病院・診療所又は助産所	2	3	1	6	8	20
	ロ	老人短期入所施設等		1	2	6	7	16
	ハ	老人デイサービスセンター等	3		1	2		6
	ニ	幼稚園又は特別支援学校						
7		学校						
8		図書館・博物館類	1		3		1	5
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場類						
	ロ	イに掲げるもの以外の公衆浴場			4			4
10		車両の停車場			1			1
11		神社・寺院・教会類			1	7	9	17
12	イ	工場・作業場	14	4	14			32
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場		1	1			2
	ロ	飛行機の格納庫						
14		倉庫	4	6	5	9		24
15		前各号に該当しない事業場	4	36	4	6		50
16	イ	前1～4・5イ・6・9の存する複 合用途防火対象物	23	9	4	2	1	39
	ロ	イに掲げるもの以外の複合用途防 火対象物	141	3	2			146
計			239	91	50	43	26	449

13. 地域別危険物施設現況

H 23. 4. 1 現在

施設区分 地域	製造所	貯蔵							取扱					合計		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	移送取扱所	一般取扱所	第一種販売取扱所		第二種販売取扱所	計
川内	2	20	50	5	41		26	4	146	73	3	59	1	1	137	287
樋脇		1	7	1	8		8		25	11		5			16	41
入来		1	10	1	7		5		24	9		6			15	39
東郷			2		3		2		7	5		2			7	14
祁答院		1			4		1	1	7	8		2			10	17
里			6		1		5		12	3		2			5	17
上甌		3	10		1		4	1	19	6	1	10			17	36
下甌		5	11	1	3		7	4	31	8		6			14	45
鹿島		1	2						3	2					2	5
合計	2	32	98	8	68		58	10	274	125	4	92	1	1	223	499

14. 危険物施設の数量及び類別状況

H 23. 4. 1 現在

施設区分 数量・類別	製 造 所			貯 蔵 所							取 扱 所					合 計
	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	移送取扱所	一般取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	計		
5 倍 以 下	1	15	22	6	38	40	6	127	8	39	47	175	47	175		
5 倍を超え10 倍以下		5	23	1	9	6	3	47	11	17	28	75	28	75		
10 〃 50 〃	1	8	31	1	14	11	1	66	48	19	69	136	69	136		
50 〃 100 〃		1	5		1	1		8	22	10	32	40	32	40		
100 〃 150 〃		1	3		3			7	12		12	19	12	19		
150 〃 200 〃		1						1	7	2	10	11	10	11		
200 〃 1,000 〃		1	10		3			14	17	3	22	36	22	36		
1,000 倍を超えるもの			4					4		2	3	7	3	7		
計	2	32	98	8	68	58	10	274	125	92	223	499	223	499		
第 1 類										1	1	1	1	1		
第 2 類																
第 3 類																
第 4 類	2	30	97	8	68	58	10	271	125	86	217	490	217	490		
第 5 類																
第 6 類			1					1				1		1		
混 在		2						2		5	5	7	5	7		
計	2	32	98	8	68	58	10	274	125	92	223	499	223	499		

15. 危険物施設の許可等処理状況

H 22. 4. 1 ~ H 23. 3. 31

施設区分		種 別		許 可		完 成 検 査		承 認			廃 止 届
		設 置	変 更	設 置	変 更	仮 貯 蔵	仮 取 扱	仮 使 用			
製 造 所											
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1									
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		2		1						2
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所										1
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	1	2		2			1			4
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所										
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	2	1						3
	屋 外 貯 蔵 所					43	1				1
	計	3	5	2	4			1			11
取 扱 所	給 油 取 扱 所		8		9			7			4
	第 一 種 販 売 取 扱 所										
	第 二 種 販 売 取 扱 所										
	移 送 取 扱 所										
	一 般 取 扱 所		9		8			7			2
	計		17		17			14			6
合 計		3	22	2	21	43	1	15			17

16. 危険物施設の立入検査実施状況

H 22. 4. 1 ~ H 23. 3. 31

施設区分 \ 項目		検査施設数	延回数
製造所			
貯蔵所	屋内貯蔵所	8	8
	屋外タンク貯蔵所	40	40
	屋内タンク貯蔵所	2	2
	地下タンク貯蔵所	11	11
	移動タンク貯蔵所	53	53
	屋外貯蔵所	5	5
	計	119	119
取扱所	給油取扱所	80	80
	移送取扱所		
	一般取扱所	15	15
	第一種販売取扱所		
	第二種販売取扱所		
	計	95	95
合計		214	214

IV. 警 防



火災防ぎょ活動

警
防



文化財防火デー消防演習

1. 消防水利状況

H 23. 4. 1 現在

地域名	区分	消 火 栓			防 火 水 槽					その他	充足率 (%)	
		総数	適合	否適合	格納箱	総数	適合 40t 以上	否適合 40t 未満	有蓋			無蓋
川 内		1,651	779	872		420	113	307	419	1	28	46
樋 脇		236	51	185	218	75	71	4	75		8	27
入 来		168	68	100	135	59	37	22	58	1	6	44
東 郷		88	36	52		101	95	6	97	4	6	32
祁 答 院		76	6	70	61	103	51	52	87	16	6	68
里		43	12	31	5	31	28	3	31		3	92
上 甌		79		79	74	22	20	2	22		6	75
下 甌		96		96	83	43	36	7	43		12	83
鹿 島		19	3	16	17	11	9	2	10	1	2	100
合 計		2,456	955	1,501	593	865	460	405	842	23	77	50

※ その他は、プール・自然水利等

消 火 栓 ———— 適 合 直径 150mm 以上に取り付けられている。
 又は、管網の一片が 180m 以下で、直径 75mm 以上に取り付けられている。
 否適合 上記以外

2. 消防車両等の概要

H 23. 4. 1 現在

番号	所属	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及びメーカー	備考
1	消防 総務	指令車	ニッサン	鹿児島88 す 6483	H8. 3	14		
2		連絡車Ⅰ	ニッサン	鹿児島52 そ 653	H9. 3	13		
3		連絡車Ⅱ	三菱	鹿児島800 さ 5843	H15. 6	7		
4		資機材搬送車Ⅰ	三菱	鹿児島800 さ 1895	H12. 7	10		クレーン付
5		資機材搬送車Ⅱ	いすゞ	鹿児島46 の 4063	H6. 12	16		
6		災害調査車	クライスラー	鹿児島800 す 1013	H16. 6	6		
7		運搬車(軽)	マツダ	鹿児島43 け 3385	H14. 6	8		
8		コンテナ車	トヨタ	鹿児島11 ぬ 607	H7. 8	15		H21 所管換え
9		バックホウ	クボタ		H17. 2	5		バケット (容量0.04 m ³)
10	本部 警防	本部指揮車	トヨタ	鹿児島800 さ 2250	H12.10	10		
11		連絡車	ニッサン	鹿児島800 さ 3817	H13.12	9		
12		支援車Ⅰ型	日野	鹿児島800 は 1276	H22.11.10	0		総務省消防庁 から無償貸与
13	本部 予防	予防指導車	マツダ	鹿児島88 に 3780	H10.11	12		
14		調査車	ニッサン	鹿児島88 す 9143	H10. 8	12		
15		原因調査車	ニッサン	鹿児島100 す 5927	H7. 8	15		
16		訓練指導車	マツダ	鹿児島88 す 8047	H9. 8	13		
17	中央 消防	指揮広報車	トヨタ	鹿児島800 さ 3528	H13. 9	9		
18		ポンプ車	日野	鹿児島800 さ 9737	H19. 1	3	A-2日本 ドライケミカル	
19		水槽付ポンプ車	日野	鹿児島800 は 500	H14.12	8	A-2日本機械	水2 t
20		梯子付ポンプ車	日野	鹿児島88 ゆ 760	H2. 10	20	A-2モリタ	35 m
21		救助工作車	日野	鹿児島800 は 496	H14.12	8		
22		高規格救急車	トヨタ	鹿児島800 さ 7565	H16.11	6		
23		2B型救急車	トヨタ	鹿児島800 さ 4475	H14. 5	8		
24		2B型救急車	トヨタ	鹿児島88 す 5084	H6. 10	16		予備車
25	南部 署	連絡車(軽)	スバル	鹿児島880 あ 590	H20.12	2		
26		水槽付ポンプ車	日野	鹿児島800 は 84	H11.12	11	A-2日本 ドライケミカル	水2.5 t
27		大型高所放水車	日野	鹿児島800 は 1222	H22. 3	0	A-1モリタ	25 m
28		ポンプ車	いすゞ	鹿児島88 す 392	S63. 9	22	A-2日本 ドライケミカル	予備車
29	上 甌	2B型救急車	トヨタ	鹿児島800 さ 4917	H14. 9	8		
30		連絡車	三菱	鹿児島88 す 9480	H10.11	12		
31	下 甌	2B型救急車	トヨタ	鹿児島800 さ 1844	H12. 7	10		
32		連絡車	マツダ	鹿児島800 さ 1650	H12. 5	10		

番号	所属	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過 年数	ポンプ及びメーカー	備考	
33	東 部 消 防 署	東 部	指揮車	マツダ	鹿児島 800 さ 158	H11. 6	11		
34			水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 800 は 1282	H22. 11	0	A-2 日本機械	水 2 t
35			電源照明車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2024	H12. 8	10		
36			高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 す 2008	H21. 11	1		
37			水槽付ポンプ車	いすゞ	鹿児島 88 す 5796	H7. 7	15	A-2 吉谷機械	水 1.7 t (予備車)
38			署 祁答院		指揮車(軽)	ニッサン	鹿児島 880 あ 151	H18. 2	4
39	水槽付ポンプ車	日野			鹿児島 800 は 831	H17.11	5	A-2 GM いちほら	水 2 t
40	2B型救急車	トヨタ			鹿児島 800 さ 8836	H18. 2	4		
41	西 部 消 防 署	西 部	指揮車	マツダ	鹿児島 800 さ 1648	H12. 5	10		
42			水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 88 ゆ 2213	H8. 11	14	A-2 日本機械	水 2 t
43			大型化学車	日野	鹿児島 800 は 1261	H22. 8	0	A-1 モリタ	泡原液 1.8t, 水 1.5 t
44			泡原液搬送車	日野	鹿児島 800 は 1307	H22. 2	0	モリタ	泡原液 5 t
45			高規格救急車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3771	H13.11	9		
46			高規格救急車	ニッサン	鹿児島 88 す 9687	H11. 1	11		予備車

3. 救急資器材の装備状況

H 23. 4. 1 現在

種別	署別	中央消防署 含南部分署 上・下甌分駐所	東部消防署 (含 祁答院分署)	西部消防署	計
除細動器 (A E D 含む)		9	3	2	14
自動式心肺蘇生装置		1	1	1	3
患者監視装置		5	2	1	8
輸液用資器材一式		2	1	1	4
気道確保用資器材一式		3	2	1	6
自動式人工呼吸器		2	2	1	5
シヨックパンプ		1	1	1	3
在宅療法継続用資機材		1	1	1	3
喉頭鏡セット		6	3	2	11
マギール鉗子		10	4	2	16
聴診器		3	4	3	10
血圧計 (車載・携帯)		6	3	3	12
流量加湿器		5	2	2	9
マイクロベント (デマンドバルブ)		4	2	0	6
吸引器		5	3	1	9
酸素ボンベ		37	13	3	53
減圧式固定具		6	2	2	10
バッグマスク		7	5	3	15
救命ブイ		4	2	1	7
メインストレッチャー		6	2	2	10
スクープストレッチャー		5	3	2	10
補助担架		6	5	1	12
自動滅菌器		1	1	0	2
救急車内殺菌装置		3	1	1	5
消毒用噴霧器		3	1	1	5
訓練用シミュレーター・システム		2	1	1	4
心肺蘇生訓練用人形 (成人)		14	1	1	16
心肺蘇生訓練用人形 (小児)		4	0	0	4
心肺蘇生訓練用人形 (乳児)		3	2	0	5
心臓マッサージ用補助器具		1	1	1	2
グループ講習用心肺蘇生マネキン		20	0	0	20
バックボード一式		5	2	1	8
気道管理トレーナー		1	0	0	1
シヨートボード		5	2	1	8

4. 特殊機材の装備状況

H 23. 4. 1 現在

種 別	型 式 ・ 規 格	現有数	備 考
空気式救助マット	ソフトランディングSL-35	1	
救 助 幕		1	
救命索発射銃	M-3型×3 MS-30型×2 M-63型×1	6	
大型油圧ジャッキ	ルーカス×3 ウェーバー×1	4	
ポ ー ト パ ワ ー		2	
油圧スプレッダー	ルーカス×6 ウェーバー×1 オグラ×1	8	(大型含む)
パ ワ ー ユ ニ ッ ト	ルーカス×6 ウェーバー×1	7	
可 搬 ウ イ ン チ	チルホールTU-16	7	
張 力 計	MD-3000	4	
マンホール救助器具	ロールグリス	1	
マット型空気ジャッキ一式	68t×1 40t×2 24t×1 18t×1 12t×1 6t×1 3t×1 1t×1	2	(式)
救助用支柱器具一式	レスキュー・ショア	1	
油 圧 切 断 機	ルーカス×6 ウェーバー×1 オグラ×1	8	(大型含む)
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	パートナー×6 スチール×3	9	
ガ ス 溶 断 機	ニューチヨパック	1	
アークエアー溶断機	酸素溶断機	1	
チ ェ ン ソ ー	50cm×3 (カッターエッジ) 45cm×4 35cm×4	11	
エ ア ー ソ ー	タイガー×4 エアーツール×1	5	
エ ア ー カ ッ タ ー	アジャックスM-711	1	
ス パ カ ッ タ ー	AN-82	1	
削 岩 機	ピコ14 マルゼンMA-180	2	
ハンマードリル	PH-65A DH-42	2	
有 毒 ガ ス 検 知 器	GX-111×7, XP-302M×1	9	
可 燃 性 ガ ス 測 定 器	XP-301×1	1	
放 射 線 測 定 器		1	
音響発光式検電器		2	

種 別	型 式 ・ 規 格	現有数	備 考
空 気 呼 吸 器	ライフゼム ドレーゲル ブルネック	70	原子力資機材(県貸与品)25
空 気 ボ ン ベ	6型×1 8型×51 8型軽量132	184	原子力資機材(県貸与品)86
酸 素 呼 吸 器	ライフゼム	5	
酸 素 ボ ン ベ		8	
送 排 風 機	P F E - 282 Y	5	大型含む
耐 電 衣 一 式		2	
耐 電 長 靴		7	
耐 電 手 袋		14	
化 学 防 護 服		6	
防 毒 衣		2	
耐 熱 服 一 式		7	
発 電 機	ホンダ ヤマハ	24	
車 両 移 動 器 具 一 式	ゴージャッキAZ-6000	1	
緩 降 機	20 m ×1 13 m ×1 15 m ×2 25 m ×1 27 m ×1 37 m ×1	7	
熱 画 像 直 視 装 置	サーモトレーサTH 5104	1	
救 命 ボ ー ト	4人乗 8人乗 9人乗	3	15hp・20hp・150hp 船外機付
携 帯 警 報 機	スーパーパス	23	
携 帯 投 光 器	S P - M 35 D B メタルハライド	3	
ピ ッ ク ア ッ プ 式 ノ ズ ル		5	
空 気 圧 縮 機	田辺V-11	1	
防 護 服	アノラック型 タイベック型	1,721	原子力資機材(県貸与品)
防 護 面 体	T S 式	1,034	原子力資機材(県貸与品)
防 護 手 袋	ゴム手袋×1,021 布手袋×937	1,958	原子力資機材(県貸与品)
ポ ケ ッ ト 線 量 計	P D M - 102×41 P D M - 112×20 A D M - 102×8 A D M - 112×48 D O S E i ×15	132	原子力資機材(県貸与品)
サ ー ベ イ メ ー タ ー	T G S - 121×2 T G S - 136×2 I C S - 321×1 T P S - 451 C ×1 N S N 31042×1 R D S - 30×4	11	原子力資機材(県貸与品) 緊急消防援助隊資機材 (総務省貸与品)
エ ア ー テ ン ト 一 式		5	原子力資機材(県貸与品) 緊急消防援助隊資機材 (総務省貸与品)
除 染 シ ャ ワ ー 一 式		1	原子力資機材(県貸与品)

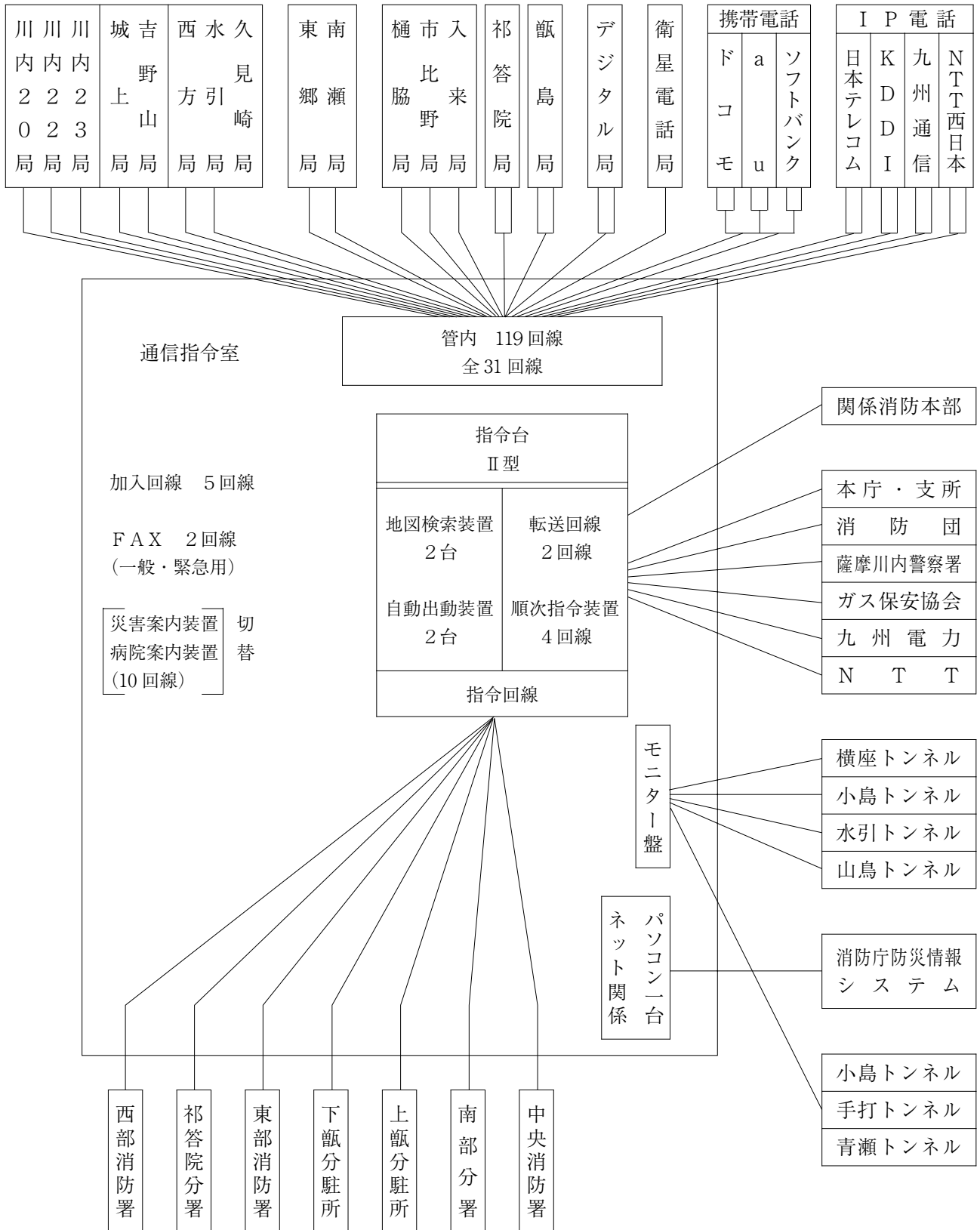
5. 潜水資機材の装備状況

H 23. 4. 1 現在

種 別	型 式 ・ 規 格	現有数	備 考
ウエットスーツ(フード付)	Sプロ. 5WJ	22	
レギュレーター	Sプロ. マーク10/R190	13	
3ゲージ	SAS社 ライブナビ401	13	
BCジャケット	Sプロ. スタビライジングジャケット	13	
レギュレーター一体型BCジャケット	mares	1	
マスク	Sプロ. Jフレームマスク	21	
スノーケル	TUSA SP-450Q	23	
フィン	Sプロ. ジェットスラストフィン	21	
ナイフ一式	US-ダイバーズアクア	8	
ヘルメット	ABS樹脂製	21	
ブーツ	ファスナー付(TUSA)	21	
グローブ	サマーグローブ	24	
ウエイトベルト	Nバックル付ベルト	15	
鉛	2.0kg	16	
〃	1.5kg	14	
〃	1.0kg	35	
水中ライト	ルーメン6ライト Laserプロ4D	9	
水中投光器	NSL-1000 100V-1000W	1	
サポーターフロート	TUSA	2	
国際信号旗	TUSA	1	
水中無線一式	フジフィットホン	1	
ロープ	フローティング (15m×2, 20m×2, 30m×1, 50m×1)	6	
ダイブリポート		1	
ドライスーツ(フード付)	アクアラング No.T-34	3	
灯浮標	5-A型	1	
空気ボンベ	12型メタリコンタンク 200kg/cm ²	25	

6. 通信系統図

H 23. 4. 1 現在



7. 無線配置状況

(1) 常備消防

H 23. 4. 1 現在

基地局		せんしょうほんぶ 川消本部							せんしょうてらやま 川消寺山					
周波数		F 3 E 149.63 MHz (市町村波) F 3 E 148.21 MHz (県波) F 3 E 158.35 MHz (県防災相互波)							F 3 E 150.73 MHz (全共1) F 3 E 148.75 MHz (全共2) F 3 E 154.15 MHz (全共3)					
車種等		事務所	ポンプ車	水槽付車	梯子ポンプ付車	放水車	化学型車	泡搬原液車	照明作車	救急車	指令部車	指揮車	災害支援車	計
陸上型	消防本部										4		1	5
	中央消防署		1	1	1				工1	3		1		8
	南部分署	1		1		1								3
	上甌分駐所	※1								1				2
	下甌分駐所	※1								1				2
	東部消防署	※1		2					照1	1		1		6
	祁答院分署			1						1		1		3
	西部消防署	※1		1			1	1		2	1	1		8
	計	5	1	6	1	1	1	1	2	9	5	4	1	37
移動局型	消防本部	8												8
	中央消防署	4	1	1	1				1	3				11
	南部分署	1		1		1								3
	上甌分駐所	2												2
	下甌分駐所	2												2
	東部消防署	2		2						1				5
	祁答院分署	2		1						1				4
	西部消防署	2		1			1	1		1				6
	計	23	1	6	1	1	1	1	1	6				41
合計	28	2	12	2	2	2	2	3	15	5	4	1	78	

※ 携帯兼用

(2) 薩摩川内市消防団

H 23. 4. 1現在

基地局		川消団本部		川消団寄田		
		川消団上甌	川消団下甌	川消団鹿島		
周波数		F3E 153.35MHZ				
設置場所	種別	基地局	可搬	車載用	携帯用	計
			固定兼用			
消防本部		5		1	8	14
市防災安全課			1			1
消防団長			1		1	2
団長付本部員					1	1
大隊長					5	5
方面隊長					9	9
副方面隊長					12	12
団本部車				1		1
西部大隊車				1		1
東部大隊車				1		1
消防団マイクロバス				1		1
消防本部指令車				1		1
警防課連絡車				1		1
上甌分駐所					1	1
下甌分駐所					1	1
川内南方面隊	川内中央南分団			4	1	5
	川内南分団			5	1	6
	平佐東分団			2	1	3
	高江分団			1	1	2
川内北方面隊	川内中央北分団			4	1	5
	下東郷分団			2	1	3
	高城東分団			2	1	3
	城上分団			2	1	3
東郷方面隊	東郷中央分団			2	1	3
	東郷東分団			2	1	3
	東郷西分団			2	1	3

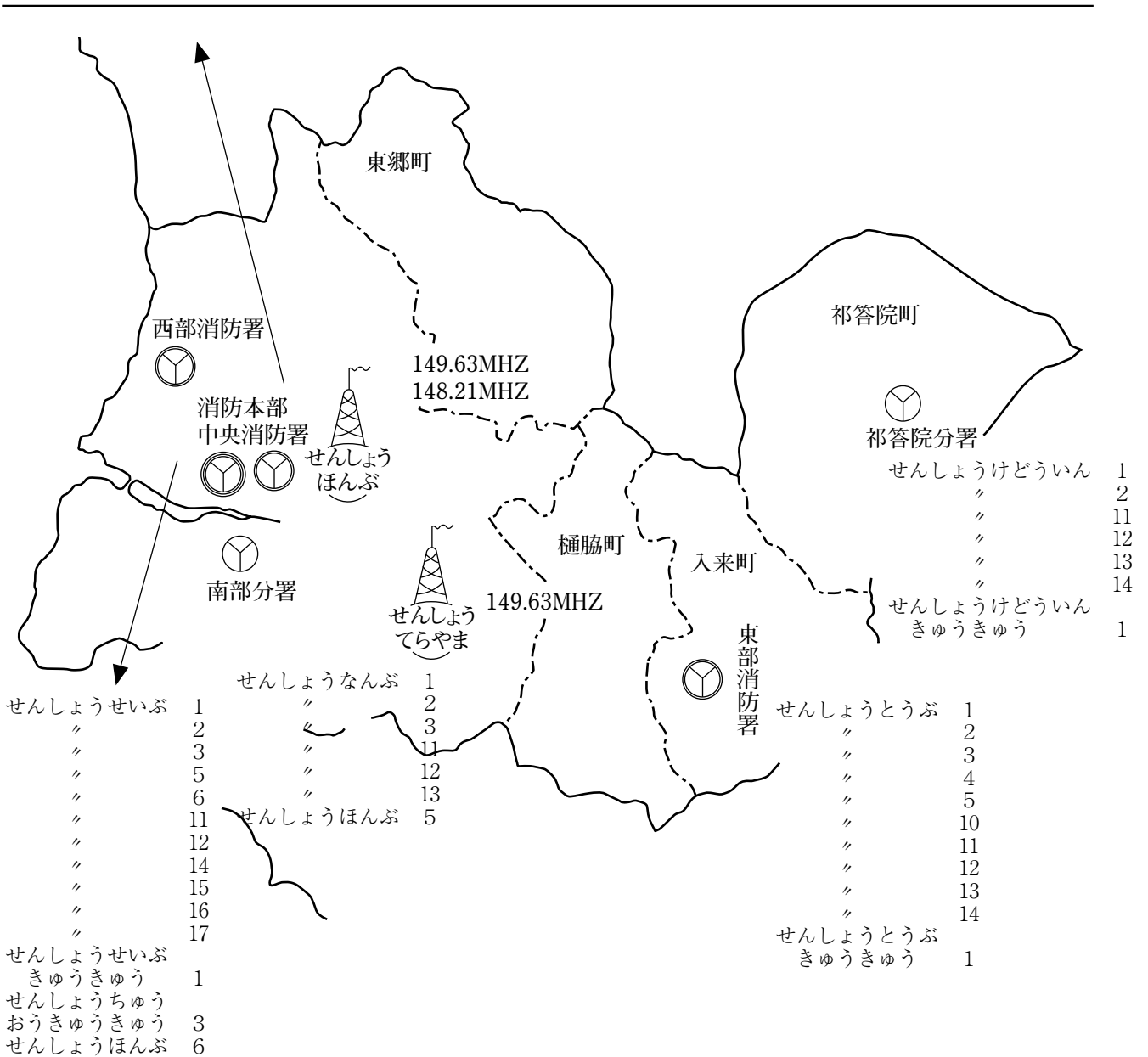
設置場所		種 別	基 地 局	可 搬 固 定 兼 用	車 載 用	携 帶 用	計
川内西方面隊	水 引 分 団				2	1	3
	高 城 西 分 団				2	1	3
	川 内 西 分 団				3	1	4
樋 脇 方 面 隊	樋 脇 北 分 団				2	1	3
	樋 脇 中 央 分 団				2	1	3
	市 比 野 中 央 分 団				2	1	3
	市 比 野 南 分 団				2	1	3
入 来 方 面 隊	副 田 分 団				1	1	2
	清 色 分 団				1	1	2
	大 馬 越 分 団				1	1	2
	朝 陽 分 団				1	1	2
祁 答 院 方 面 隊	黒 木 分 団				1	1	2
	上 手 分 団				1	1	2
	下 手 分 団				2	1	3
	蘭 牟 田 分 団				2	1	3
上 甌 方 面 隊	里 分 団				4	1	5
	上 甌 中 央 分 団				5	1	6
	浦 内 分 団				3	1	4
下 甌 方 面 隊	下 甌 北 分 団				8	1	9
	下 甌 南 分 団				6	1	7
	鹿 島 分 団				3	1	4
計			5	2	89	70	166

8. 無線設備分布図

(1) 常備消防

H 23. 4. 1 現在

せんしょうほんぶ	1	せんしょうちゅうおう	1	せんしょうちゅうおう	1
〃	2	〃	2	きゅうきゅう	2
〃	3	〃	3	〃	4
〃	4	〃	4	〃	11
〃	10	〃	5	〃	12
〃	11	〃	10	〃	13
〃	17	〃	11		
〃	21	〃	13		
〃	22	〃	14		
〃	23	〃	16		
〃	24	〃	17		
〃	25	〃	18		
		〃	19		





(2) 薩摩川内市消防団

H 23. 4. 1現在

設置場所	呼出名称	設置場所	呼出名称
消防本部	せんしょうだん ほんぶしゃ3	東郷東分団	せんしょうだん やまだ1
	せんしょうだん ほんぶ22~29		せんしょうだん とうごうひがし10
市防災安全課	せんしょうだん しやくしょ1	東郷西分団	せんしょうだん とりまる1
消防団長	せんしょうだん しれいしゃ1		せんしょうだん ふじかわ1
消防団長	せんしょうだん ほんぶ1	水引分団	せんしょうだん とうごうにし10
団長付本部員	せんしょうだん ほんぶ10		せんしょうだん みずひき1
大隊長	せんしょうだん ちゅうおうほんぶ1	高城西分団	せんしょうだん みなと1
	せんしょうだん せいぶほんぶ1		せんしょうだん みずひき10
	せんしょうだん とうぶほんぶ1		せんしょうだん ゆだ1
	せんしょうだん かみこしきほんぶ1		せんしょうだん にしかた1
	せんしょうだん しもこしきほんぶ1		せんしょうだん たきにし10
方面隊長	せんしょうだん せんだいみなみ1	川内西分団	せんしょうだん ぐみざき1
	せんしょうだん せんだいきた1		せんしょうだん よりた1, 2
	せんしょうだん とうごう1	せんしょうだん せんだいにし10	
	せんしょうだん せんだいにし1	せんしょうだん くの1	
	せんしょうだん ひわき1	樋脇北分団	せんしょうだん いわた1
	せんしょうだん いりき1	せんしょうだん ひわききた10	
	せんしょうだん けどういん1	樋脇中央分団	せんしょうだん とうのはら1
	せんしょうだん かみこしき1		せんしょうだん かわち1
副方面隊長	せんしょうだん しもこしき1	市比野中央分団	せんしょうだん ひわきちゅうおう10
	せんしょうだん せんだいみなみ2		せんしょうだん いちひの1
	せんしょうだん せんだいきた2	せんしょうだん いちひのかみで1	
	せんしょうだん とうごう2	せんしょうだん いちひのちゅうおう10	
	せんしょうだん せんだいにし2, 3	市比野南分団	せんしょうだん ふじもと1
	せんしょうだん ひわき2		せんしょうだん のした1
	せんしょうだん いりき2	せんしょうだん いちひのみなみ10	
	せんしょうだん けどういん2	副田分団	せんしょうだん そえだ1
せんしょうだん かみこしき2, 3	せんしょうだん そえだ10		
せんしょうだん しもこしき2, 3	清色分団	せんしょうだん きよしき1	
せんしょうだん ほんぶしゃ1		せんしょうだん きよしき10	
団本部車	せんしょうだん せいぶだいたい1	大馬越分団	せんしょうだん おおうまごえ1
西部大隊車	せんしょうだん とうぶだいたい1		せんしょうだん おおうまごえ10
東部大隊車	せんしょうだん ほんぶしゃ2	朝陽分団	せんしょうだん ちょうよう1
消防団マイクロバス	せんしょうだん しれいしゃ2		せんしょうだん ちょうよう10
消防本部指令車	せんしょうだん ほんぶしゃ4	黒木分団	せんしょうだん くろき1
警防課連絡車	せんしょうだん ほんぶ20		せんしょうだん くろき10
上甌分駐所	せんしょうだん ほんぶ21	上手分団	せんしょうだん けどういんかみで1
下甌分駐所	せんしょうだん むこうだ1		せんしょうだん けどういんかみで10
川内中央南分団	せんしょうだん みやざと1	下手分団	せんしょうだん しもで1, 2
	せんしょうだん ひらさちゅうおう1, 2		せんしょうだん しもで10
	せんしょうだん ちゅうおうみなみ10		せんしょうだん いむた1, 2
川内南分団	せんしょうだん くまのじょう1	藺牟田分団	せんしょうだん いむた10
	せんしょうだん なかふくら1		せんしょうだん さとほくぶ1
	せんしょうだん みやざき1		せんしょうだん さとちゅうぶ1
	せんしょうだん ながとし1		せんしょうだん さとなんぶ1
	せんしょうだん ももつぎ1		せんしょうだん さとししょ1
平佐東分団	せんしょうだん みなみ10	上甌中央分団	せんしょうだん さと10
	せんしょうだん ひらさひがし1, 2		せんしょうだん なかこしき1, 2
高江分団	せんしょうだん ひらさひがし10	下甌北分団	せんしょうだん えいし1
	せんしょうだん たかえ1		せんしょうだん たいら1
川内中央北分団	せんしょうだん たかえ10	浦内分団	せんしょうだん かみこしきししょ1
	せんしょうだん おおしょうじ1		せんしょうだん かみこしきちゅうおう10
	せんしょうだん ちゅうごう1		せんしょうだん うらうち1, 2
	せんしょうだん かみせんだい1		せんしょうだん くわのうら1
下東郷分団	せんしょうだん かめやま1	下甌南分団	せんしょうだん うらうち10
	せんしょうだん ちゅうおうきた10		せんしょうだん ながはま1, 2, 3
高城東分団	せんしょうだん しもとうごう1, 2	鹿島分団	せんしょうだん あおせ1, 2
	せんしょうだん しもとうごう10		せんしょうだん うちかわうら1
城上分団	せんしょうだん たき1	下甌南分団	せんしょうだん せせのうら1, 2
	せんしょうだん ようぜい1		せんしょうだん しもこしきた10
	せんしょうだん たきひがし10		せんしょうだん てうち1, 2, 3
東郷中央分団	せんしょうだん かみじょうかみ1	鹿島分団	せんしょうだん かたのうら1, 2
	せんしょうだん しもじょうかみ1		せんしょうだん しもこしきししょ1
東郷東分団	せんしょうだん じょうかみ10	鹿島分団	せんしょうだん しもこしきみなみ10
	せんしょうだん とうごうちゅうおう1, 2		せんしょうだん かしま1, 2
	せんしょうだん とうごうちゅうおう10		せんしょうだん かしまししょ1
	せんしょうだん のうぜ1		せんしょうだん かしま10

9. 薩摩川内市消防局消防気象 (本庁屋上)

H 22. 1. 1 ~ H 22. 12. 31

気象別 月別	天			気			別			日			数			降 雨 量 (ミリ)	気温 (°C)			湿度 (%)			風 (m)		
	晴 天 日 数	曇 天 日 数	雨 天 日 数	降 雪 日 数	濃 霧 日 数	10 吹 い た 日 の 風 が 数	降 雨 10 ミリ 未 満 数	降 雨 10 ミリ 以 上 数	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均		最 大	最 多	最 多	平 均	最 大	最 多	最 多	平 均	
1	13	9	9			14	26	5	7.6	22.0	-1.8	71.6	31.8	16.6	N	1.7									
2	13	4	11		1	15	24	4	11.5	24.1	0.0	71.5	28.1	22.6	N	1.8									
3	12	5	14			18	20	11	13.0	25.1	-0.6	71.3	17.5	24.1	NNW	2.2									
4	14	2	14		1	19	25	5	15.9	26.8	4.4	69.9	30.2	22.0	NW	2.3									
5	18	3	10			14	26	5	20.8	28.7	9.2	72.2	25.9	21.3	WNW	2.1									
6	7	8	15			13	21	9	24.1	32.5	15.6	80.1	21.1	22.8	ESE	1.8									
7	9	7	15			10	24	7	28.1	36.6	22.7	81.1	43.8	15.0	SSW	2.2									
8	14	2	15			13	29	2	29.8	37.2	24.7	76.2	46.2	17.6	ESE	2.4									
9	14	3	13		1	11	24	6	26.9	36.3	17.1	77.3	41.8	15.2	ESE	1.7									
10	15	6	10			9	26	5	20.9	31.4	11.4	74.6	28.3	15.6	NNW	1.3									
11	18	4	8			10	29	1	13.6	23.5	1.8	72.4	30.8	16.5	NNW	1.1									
12	11	4	15	1		20	28	3	9.8	21.8	-0.3	72.3	33.8	22.8	NNW	2.0									
計	158	57	149	1	3	166	302	63																	
									平均	最高	最低	平均	最低	最大	最多	平均									
									18.5	37.2	-1.8	74.2	17.5	24.1	NNW	1.9									

V. 救急及び救助



救助活動



救急等



救急事故訓練

1. 地域別救急出場状況

H 22. 1. 1 ~ H 22. 12. 31

種別 \ 地域別	川内	樋脇	入来	東郷	祁答院	里	上甌	下甌	鹿島	市外	計	前年
火災	16	2	1		2		1				22	24
自然災害	1										1	0
水難事故	3	1					2	1			7	5
交通事故	220	30	42	16	12		3	1	1	5	330	322
労働災害	9	1	1	1	1	1	1	1			16	18
運動競技	9	11		1	2						23	39
一般負傷	287	39	33	29	20	6	8	13	2	2	439	445
加害	16	2	1								19	14
自損行為	43	1	6	2	4		1			1	58	50
急病	1,417	201	155	134	124	22	38	80	25	18	2,214	2,206
その他	419	44	23	1	7	10	31	23	7	30	595	644
計	2,440	332	262	184	172	39	85	119	35	56	3,724	3,767
前年	2,381	368	222	191	204	34	115	135	38	79	3,767	

(種別のその他には転院搬送を含む)

2. 月別救急出場状況

H 22. 1. 1 ~ H 22. 12. 31

種別 \ 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
火災	4	3	2		2	5	1		1	2	1	1	22
自然災害						1							1
水難事故					2	1		3		1			7
交通事故	17	19	38	17	24	23	19	39	31	26	33	44	330
労働災害	1		3	1		1	2	3	2	1	1	1	16
運動競技	1	1			4	7	1	4	2	1	1	1	23
一般負傷	36	32	38	32	41	33	37	38	26	36	46	44	439
加害	1		2	1	3	2	2	1	2	1	2	2	19
自損行為	4	2	10	4	5	4	3	7	8	4	5	2	58
急病	217	168	203	167	184	155	174	210	168	181	181	202	2,210
その他	54	34	47	52	59	47	42	56	54	43	47	64	599
計	335	259	343	274	324	279	281	361	294	296	317	361	3,724

(種別のその他には転院搬送を含む)

3. 診療科目別搬送状況

H 22. 1. 1 ~ H 22. 12. 31

診療科目 \ 区域等	管 医 療 機 内 関	管 医 療 機 外 関	合 計	構 成 比 (%)	前 年	前 年 比
内 科	1,373	74	1,447	42.0	1,405	42
循 環 器 科	203	25	228	6.6	234	△ 6
小 児 科	107	11	118	3.4	134	△ 16
外 科	372	22	394	11.4	468	△ 74
整 形 外 科	558	36	594	17.2	561	33
脳 神 経 外 科	249	27	276	8.0	280	△ 4
脳 内 科	147	5	152	4.4	184	△ 32
小 児 外 科	1	0	1	0.0	3	△ 2
産 婦 人 科	28	22	50	1.5	48	2
泌 尿 器 科	37	3	40	1.2	43	△ 3
皮 膚 科	8	0	8	0.2	7	1
耳 鼻 咽 喉 科	11	3	14	0.4	14	0
眼 科	3	0	3	0.1	2	1
精 神 科	26	2	28	0.8	29	△ 1
そ の 他	87	9	96	2.8	97	△ 1
合 計	3,210	239	3,449	100.0	3,509	△ 60
構 成 比 (%)	93.1	6.9	100.0			
前 年	3,211	298	3,509			
前 年 比	△ 1	△ 59	△ 60			

その他とは・・・泌尿器内科等を含む。

また、ヘリ搬送や船による搬送で、他の消防機関により管外へ搬送された患者を含む。

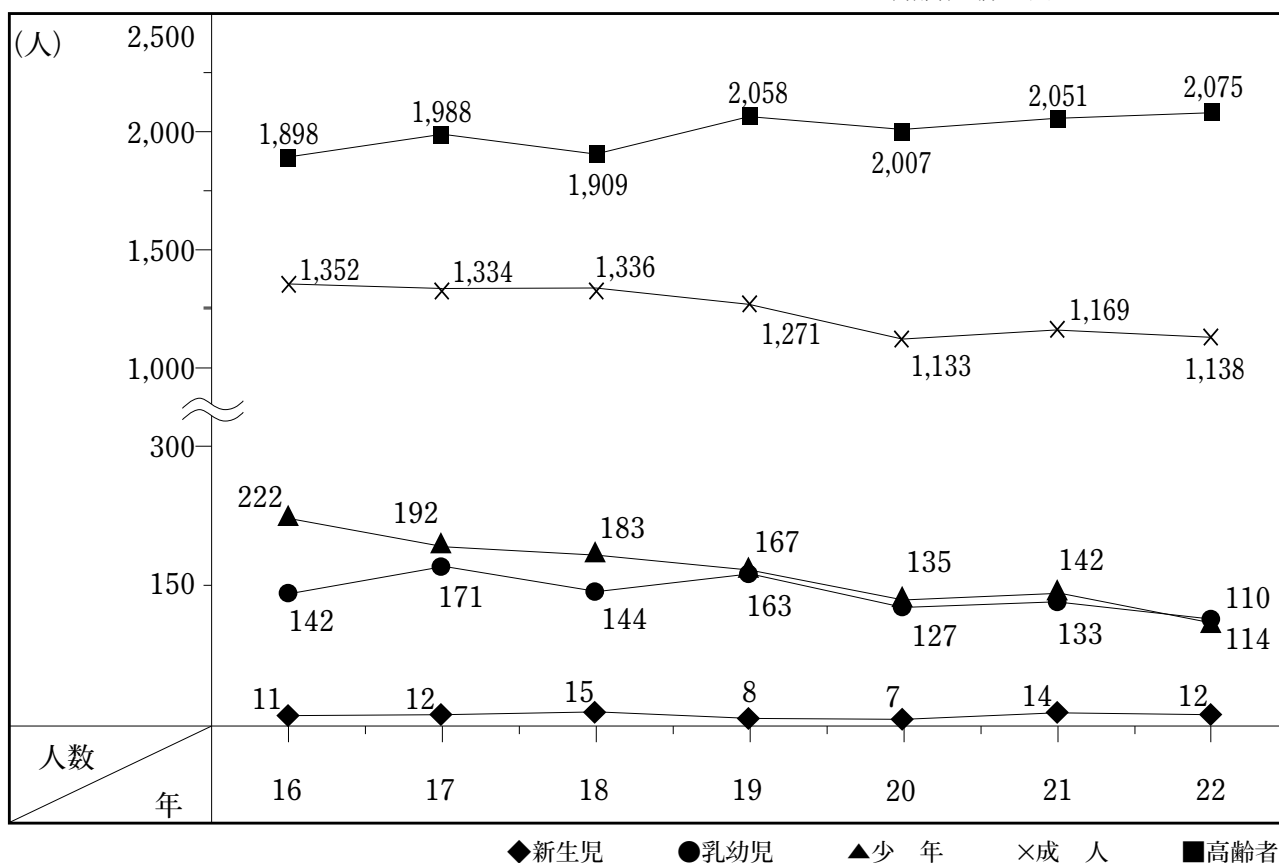
4. 年齢区分別搬送人員

H 22. 1. 1 ~ H 22. 12. 31

事故種別 \ 年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災			1	4	5	10
自然災害						
水難				2	2	4
交通事故		9	31	214	68	325
労働災害				15	1	16
運動競技			18	5		23
一般負傷		22	9	100	287	418
加害			1	14		15
自損行為			1	35	6	42
急病		65	36	600	1,340	2,041
転院搬送	12	18	10	149	366	555
その他						
合計	12	114	110	1,138	2,075	3,449
構成比 (%)	0.3	3.3	3.2	33.0	60.2	100.0
前年	14	133	142	1,169	2,051	3,509
前年比	△ 2	△ 19	△ 32	△ 31	24	△ 60

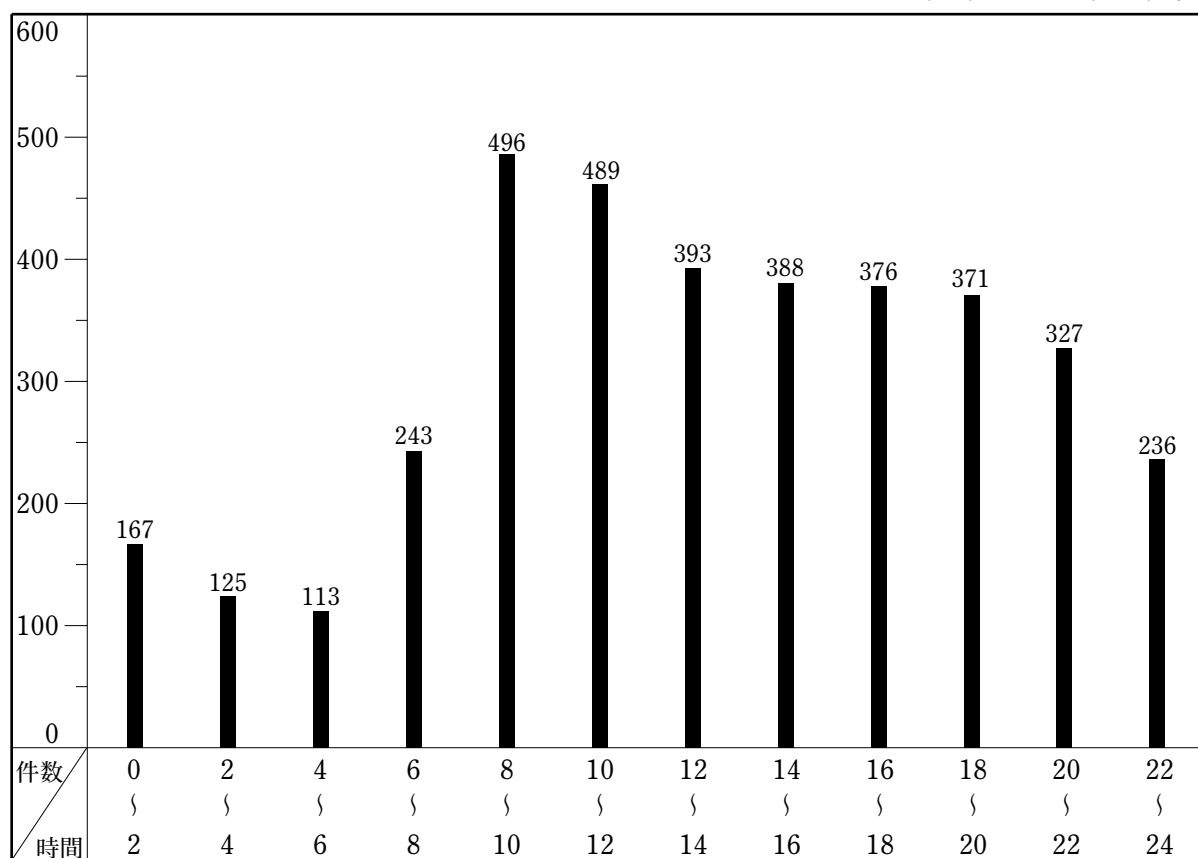
新生児 生後 28 日未満
 乳幼児 生後 28 日以上 ~ 満 7 歳未満
 少年 満 7 歳以上 ~ 満 18 歳未満
 成人 満 18 歳以上 ~ 満 65 歳未満
 高齢者 満 65 歳以上

【年齢区分別推移】



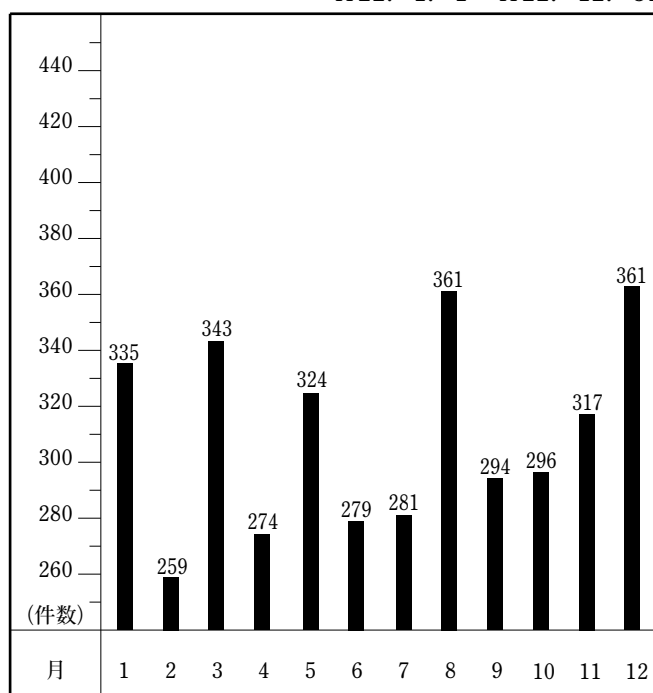
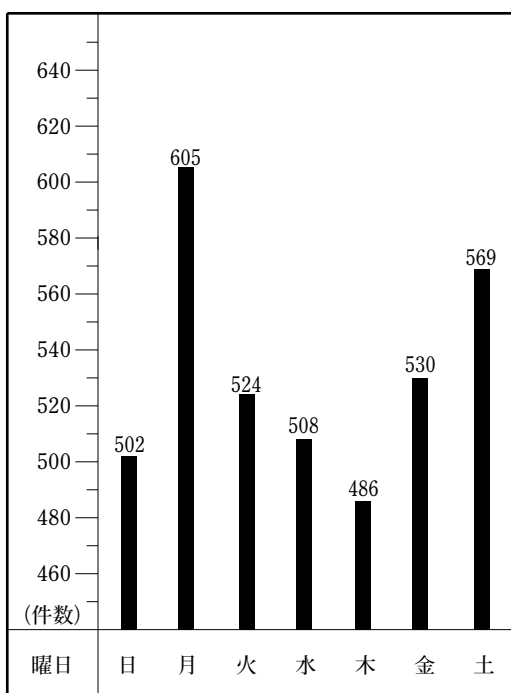
5. 時間別出場状況

H22. 1. 1～H22. 12. 31



6. 曜日・月別出場状況

H22. 1. 1～H22. 12. 31



7. 救急隊員の行なった応急処置状況（搬送者のうち）

H 22. 1. 1～H 22. 12. 31

応急処置	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	前年	前年比	
止	血	6	10	43	9	68	65	3	
固	定	3	63	45	17	128	133	△5	
人工呼吸		5			2	7	5	2	
心マッサージ						0		0	
心肺蘇生		67		7	11	85	75	10	
酸素吸入		534	17	24	229	804	838	△34	
気道確保		63	1	4	15	83	60	23	
ただし、※1. 2. 3を除く									
保温		67	7	22	25	121	164	△43	
被覆		3	60	106	28	197	222	△25	
除細動		16		1		17	12	5	
拡大 応急 処置	在宅療法継続	6				6	4	2	
	※1 経鼻エアウェイ	12	1	1	4	18	19	△1	
	咽頭鏡・鉗子	6		3	1	10	4	6	
	ショックパンツ					0	0	0	
	血圧測定	1,824	280	354	507	2,965	2,893	72	
	聴診器による心音・呼吸音等聴取	333	34	23	48	438	456	△18	
	血中酸素飽和度測定	1,909	291	380	583	3,163	3,177	△14	
	心電図	1,205	38	104	223	1,570	1,178	392	
	特 定 行 為	静脈路確保(輸液)	27		4	4	35	22	13
		※2 コンビチューブ ラリngeアルマスク	7			1	8	10	△2
※3 気管挿管		17		3	2	22	25	△3	
薬剤投与		11			1	12	2	10	
その他の応急処置		1,185	60	179	203	1,627	1,169	458	
処置人員		2,009	310	404	622	3,345	3,370	△25	
構成比		60.1	9.3	12.1	18.6	100.0			
搬送人員数		2,041	325	418	665	3,449	3,509	△60	

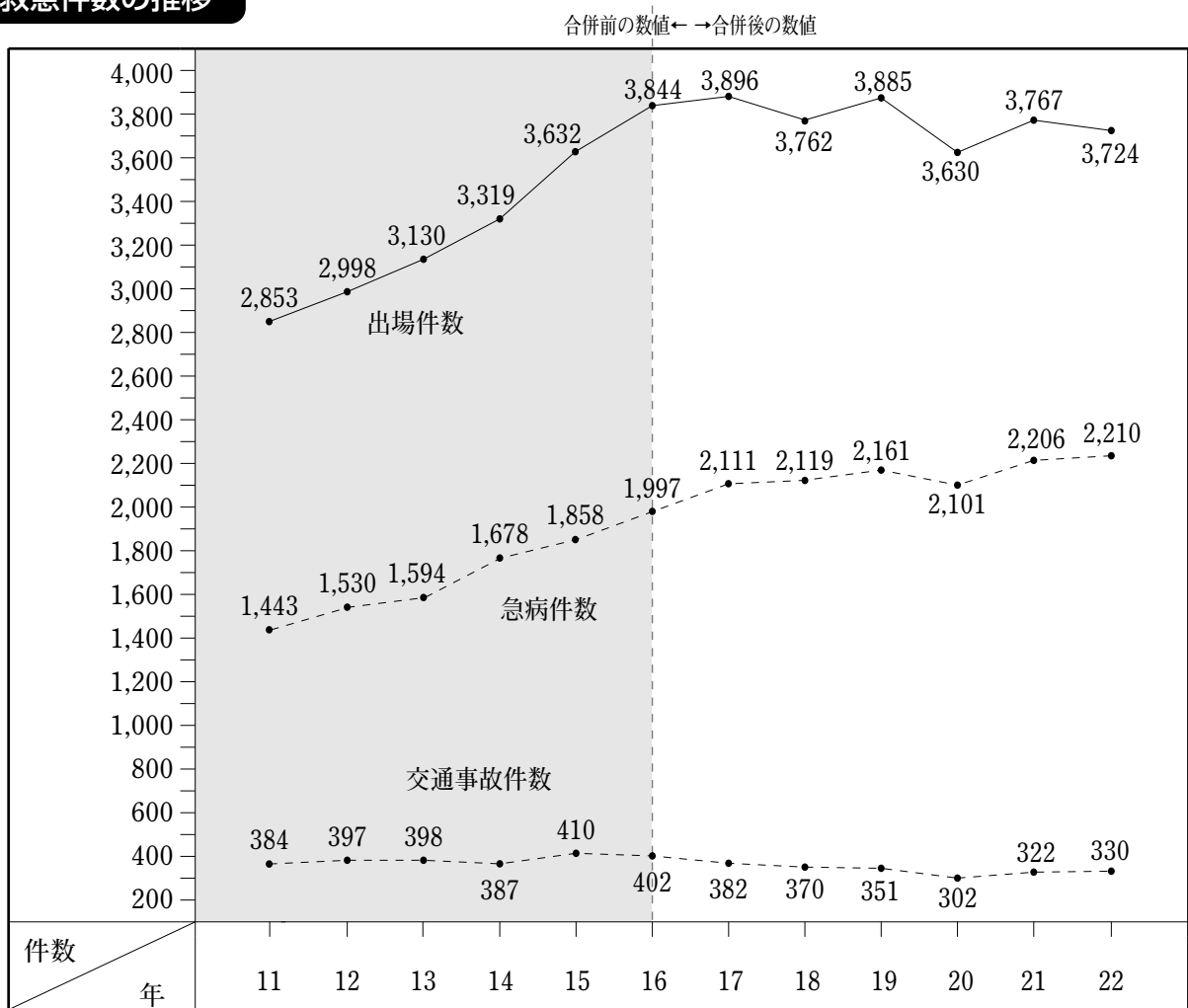
8. 不搬送原因別出場件数

H 22. 1. 1～H 22. 12. 31

不搬送理由	緊急性 なし	傷 なし	者 し	拒 否	酪 酩	死 亡	現 場 処 置	そ の 他	計
出場件数	14	27		102	4	52	58	64	321

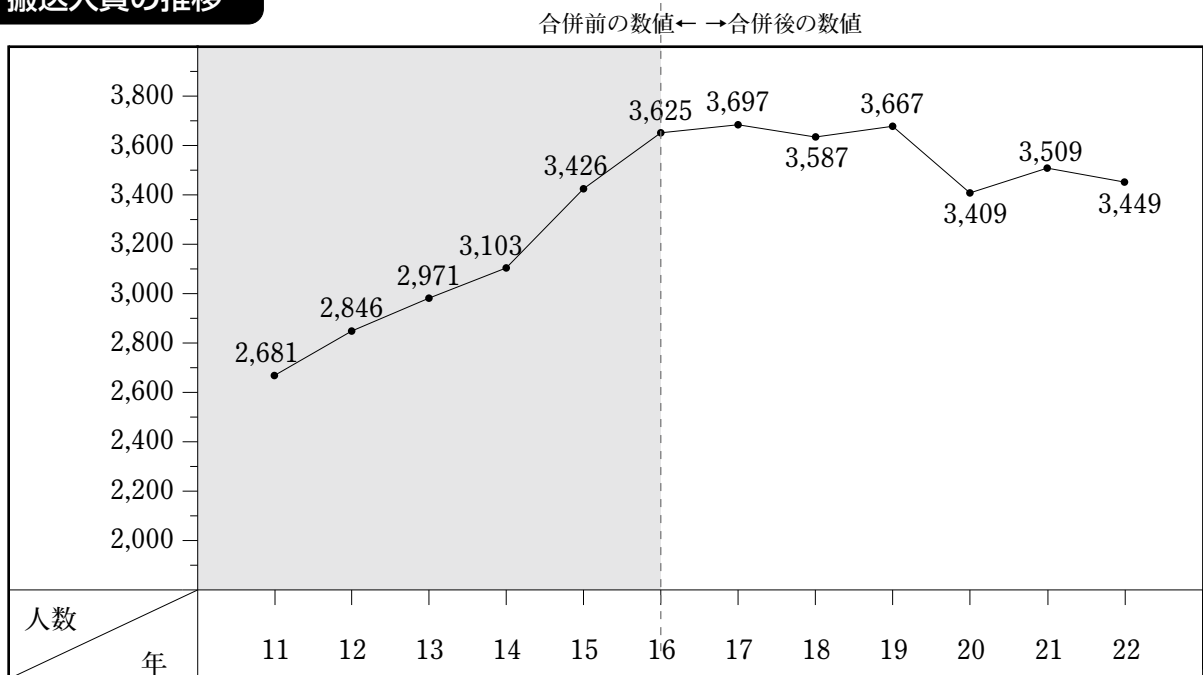
(その他には誤報いたずら含む)

9. 救急件数の推移



※合併前の数値（祁答院地区を除いたもの）

10. 搬送人員の推移

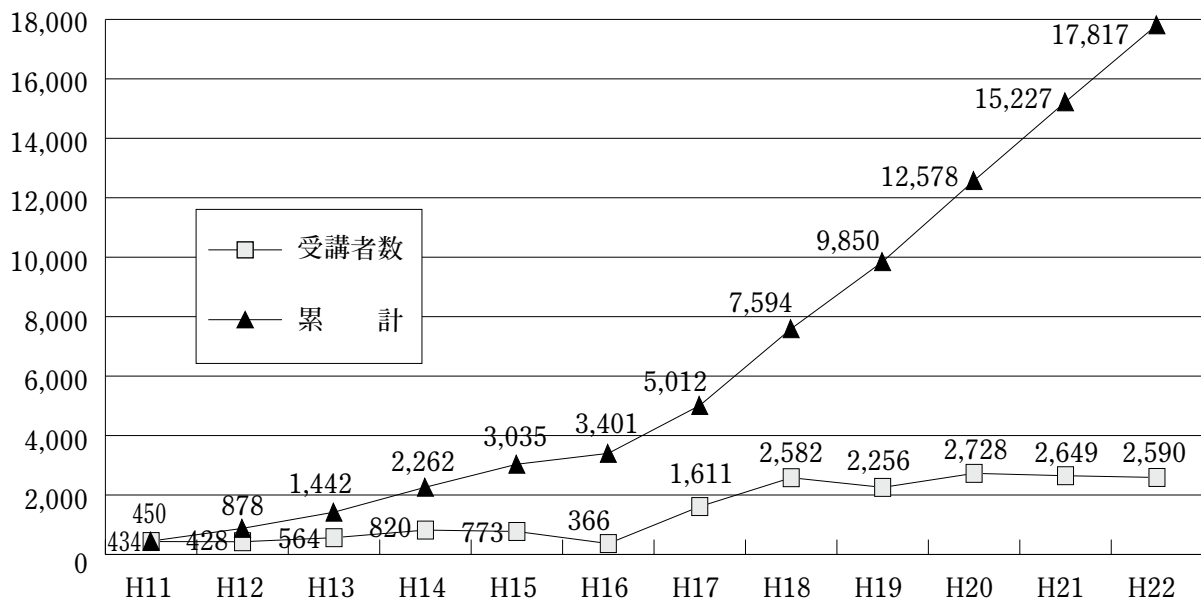


※合併前の数値（祁答院地区を除いたもの）

11. 住民に対する応急手当普及啓発活動状況

区分 \ 年	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
実施回数	15	17	25	37	38	25	82	145	116	142	134	133
受講者数	434	428	564	820	773	366	1,611	2,582	2,256	2,728	2,649	2,590
累計	450	878	1,442	2,262	3,035	3,401	5,012	7,594	9,850	12,578	15,227	17,817
市民に占める受講割合	0%	1%	1%	2%	3%	3%	5%	7%	10%	12%	15%	18%

※ H17～ AED（自動体外式除細動器）を含む講習にした



12. CPA 患者社会復帰状況

区分 \ 年	H17	H18	H19	H20	H21	H22
CPA 患者数（搬送者）	84 人	66 人	98 人	77 人	78 人	86 人
バイスタンダー CPR	32.1%	36.4%	42.9%	40.3%	46.2%	33.7%
蘇生率	0.0%	9.1%	17.3%	14.3%	14.1%	20.9%
社会復帰率	0.0%	3.0%	6.1%	7.8%	5.1%	2.3%

※ CPA…………… CardioPulmonary Arrest の略で、心肺停止のことをいう。

※ CPR…………… CardioPulmonary Resuscitation の略で、心肺蘇生法のことをいう。

※バイスタンダー……… 救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者等）。

※社会復帰…………… 心肺停止により救急搬送された人が、回復により歩いて退院したことをさす。

13. 事故種別救助活動状況

H 22. 1. 1 ~ H 22. 12. 31

事故種別 区分	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	そ の 他 の 事 故	計
出場件数	2	37	5	2	1	2			8	57
活動件数	2	14	4		1	2			5	28
救助人員	0	17	3		1	2			5	28

・消防機関が救助活動を行う目的で出場した件数
 なお、火災の場合は消防機関が何らかの救助活動を行った件数

14. 事故種別出場及び活動車両状況

H 22. 1. 1 ~ H 22. 12. 31

事故種別 車両区分	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	そ の 他 の 事 故	計
救助工作車	2	37	5	2	1	1			7	55
	2	6	2		1	1			4	16
消防ポンプ 自動車	3	34	5	1	1	1			7	52
	1	11	4		1				4	21
はしご車及び 屈折はしご車		1	1							2
指揮車及び 指 令 車		8	3		2				1	14
		2	3		1				1	7
救急自動車	1	47	5	1	1	1			6	62
		12	3		1				4	20
船 舶										
そ の 他			9							9
			7							7
消防団車両			1							1
計	6	127	29	4	5	3			21	195
	3	31	19		3	2			13	71

・救助活動のために出場した車両等の台数

※上段 出動車両台数
 下段 活動車両台数

VI. 消防団及び消防協力団体



訓練中の消防団員



防火の呼びかけ（幼年消防隊）育英保育園

1. 薩摩川内市消防団の組織

薩摩川内市消防団は、消防局の中央消防署・西部消防署・東部消防署・上甌分駐所・下甌分駐所の管轄区域にリンクさせ、中央・西部・東部・上甌・下甌の5大隊を、その下に9方面隊・32分団を組織。また、女性団員は、団本部に専任の団体部付き女性部を、上甌・下甌大隊には、分団所属の女性団員で構成する併任の大隊付き女性部を置いている。

薩摩川内市消防団の組織

H 23. 4. 1 現在

			分団名称	部数	班数	団員数	所轄区域					
薩摩川内市消防団	中央 大隊 (大隊長)	団長付本部員	団本部付き女性部	1部	2班	20	団本部					
		川内南方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	川内中央南分団	4部	8班	69	川内・平佐西地区				
				川内南分団	4部	10班	72	隈之城・永利地区				
				平佐東分団	2部	4班	31	平佐東地区				
				高江分団	1部	2班	22	峰山地区				
		川内北方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	川内中央北分団	4部	8班	74	亀山・可愛・育英地区				
				下東郷分団	2部	4班	30	八幡地区				
				高城東分団	2部	4班	34	高来地区				
				城上分団	2部	4班	30	城上・吉川地区				
		東郷方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	東郷中央分団	2部	4班	47	斧淵地区				
				東郷東分団	2部	4班	34	南瀬・山田地区				
				東郷西分団	2部	4班	32	烏丸・藤川地区				
				西部 大隊 (大隊長)	川内西方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	水引分団	2部	4班	34	水引地区
	高城西分団							2部	4班	37	湯田・西方地区	
	川内西分団	2部	4班					32	滄浪・寄田地区			
	東部 大隊 (大隊長)	樋脇方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	樋脇北分団	2部	4班	27	倉野・樋脇(上樋脇)地区			
					樋脇中央分団	2部	4班	31	樋脇(上樋脇を除く)地区			
					市比野中央分団	2部	4班	33	市比野地区			
		入来方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	市比野南分団	2部	4班	27	藤本・野下地区			
					副田分団	2部	4班	37	副田地区			
					清色分団	1部	2班	20	入来地区			
		祁答院方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	大馬越分団	1部	2班	20	大馬越・八重地区			
					朝陽分団	1部	2班	22	朝陽地区			
					黒木分団	1部	2班	22	黒木地区			
					上手分団	1部	2班	21	上手地区			
					下手分団	2部	4班	30	大村・轟地区			
	上甌 大隊 (大隊長)	上甌方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	蘭牟田分団	2部	4班	30	蘭牟田地区			
					里分団	4部	7班	68	里地区			
					上甌中央分団	4部	7班	53	上甌(浦内を除く)			
	下甌 大隊 (大隊長)	下甌方面隊 (方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	本部員 (副方面隊長)	浦内分団	2部	4班	41	上甌(浦内)地区			
					上甌大隊付き女性部				1部	2班	実員(20)	分団所属で併任
					下甌北分団	5部	10班	78	瀬々野浦・内川内・長浜・青瀬地区			
下甌南分団						4部	7班	59	手打・片野浦地区			
鹿島分団						3部	5班	43	鹿島地区			
下甌大隊付き女性部				1部	2班	実員(20)	分団所属で併任					

団長 1 副団長 5 方面隊長 9 本部員 13 分団長 32 副分団長 32 部長 77 班長 151 団員 968 実員 1,288 (内女性 60) 定員 1,329

【副団長級】 【分団長級】
 (団長付本部員 1)
 (副方面隊長 12)

2. 消防団員定数及び実員

H 23. 4. 1 現在

階級 区分	団 長	副団長	方面隊長	本部員 (副方面隊長)	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
定 数	1	5	9	13	32	32	77	151	1,009	1,329
実 員	1	5	9	13	32	32	77	151	968	1,288

3. 消防団員の年齢

H 23. 4. 1 現在

年齢	18歳以上 20歳未満	20歳以上 25歳未満	25歳以上 30歳未満	30歳以上 35歳未満	35歳以上 40歳未満	40歳以上 45歳未満	45歳以上 50歳未満	50歳以上 55歳未満	55歳以上 60歳未満	60歳以上	平均年齢
1,273 (57)	3 (0)	33 (1)	115 (6)	158 (10)	193 (6)	213 (7)	234 (16)	203 (8)	100 (3)	36 (3)	42.3歳 (42.5)

() は女性団員

4. 方面隊別団員数

H 23. 4. 1 現在

区分 方面隊名	分 団 数	団 員 数 (人)	方面隊人口 (人)	世 帯 数 (世帯)	団員1人あたり 人口 (人)
川内南方面隊	4	193	38,078	16,745	197
川内北方面隊	4	168	29,043	12,926	172
東 郷 方 面 隊	3	113	5,755	2,465	50
川内西方面隊	3	103	5,031	2,570	48
樋 脇 方 面 隊	4	118	7,195	3,374	60
入 来 方 面 隊	4	99	5,463	2,566	55
祁答院方面隊	4	103	4,119	1,848	39
上 甕 方 面 隊	3	162	2,813	1,487	17
下 甕 方 面 隊	3	180	2,781	1,636	15

※団長・団本部・団本部付女性部の計48名を除く

5. 消防団員の勤続年数

H 23. 4. 1 現在

勤続年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
1,288 (60)	382 (46)	225 (10)	254 (1)	197 (3)	121 (1)	73 (0)	36 (0)

() は女性団員

6. 消防団車両の概要

H 23. 4. 1 現在

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及びメーカー	備考	
1	中隊	団本部	団本部	団本部	団本部車	トヨタ	鹿児島 88 す 9533	H10.11	12			
2				団本部	ひげし号	三菱	鹿児島 22 す 1060	H 4. 5	18			
3				団本部	支援車	三菱	鹿児島 88 す 7692	H 9. 3	13			
4			西部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 738	H 7. 9	15			
5			東部大隊	団本部	大隊車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 476	H 3.12	19			
6			上甕大隊	団本部	大隊車	スズキ	鹿児島 80 あ 682	H 7. 3	15			
7	中央大隊	川内南	川内中央南	向田部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 3730	H13.11	9	A-2日本 ドライケミカル		
8				宮里部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4882	H 6. 7	16			
9				中央一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 618	H19.12	3	A-2日本機械		
10				中央二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8101	H 9. 9	13			
11			川内南	隈之城部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 3731	H13.11	9	A-2日本 ドライケミカル		
12				中福良部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4250	H 5.11	17			
13				宮崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 5972	H 7. 9	15			
14				永利部 永利班	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 1069	H12. 1	10			
15				永利部 百次班	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8100	H 9. 9	13			
16			平佐東	一部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6234	H15.10	7			
17				二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 8099	H 9. 9	13			
18			高江	高江部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 6283	H15.10	7	A-2日本 ドライケミカル		
19			川内北	川内中央北	大小路部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 5561	H15. 3	7	A-2日本 ドライケミカル	
20					中郷部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7052	H 8.10	14		
21		上川内部			ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7486	H16.11	6	A-2日本 ドライケミカル		
22		亀山部			ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7485	H16.11	6	A-2日本 ドライケミカル		
23		下東郷		一部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9545	H10.12	12			
24				二部	ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 859	H 8.10	14			
25		高城東		高城部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3864	H13.12	9			
26				陽成部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9546	H10.12	12			
27		城上		上城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 5971	H 7. 9	15			
28				下城上部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4238	H 5.11	17			
29		東郷		東郷中央	一部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2905	H22.12	0	A-2日本 ドライケミカル	
30						ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 233	S 63. 3	22		
31					二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 3675	H 5. 3	17		
32						ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 234	S 63. 3	22		
33			東郷東	南瀬部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 8087	H 9. 9	13	A-2日本 ドライケミカル		
34				山田部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 462	H11. 9	11	A-2日本機械		

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及びメーカー	備考	
35	中央大隊	東郷	東郷西	烏丸部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 さ 2139	H12. 9	10	A-2エレファント		
36				藤川部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 6018	H 7.10	15	A-2モリタ		
37	西部大隊	川内西	水引	水引部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3863	H13.12	9			
38				港部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 3865	H13.12	9			
39			高城西	西方部	ポンプ車	三菱	鹿児島 88 す 9513	H10.12	12	A-2日本 ドライケミカル		
40				湯田部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2446	H12.12	10			
41			川内西	久見崎部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 4881	H 6. 7	16			
42					寄田部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7053	H 8.10	14		
43						ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 80 あ 963	H 9. 9	13		
44	東部大隊	樋脇北	倉野部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 さ 6240	H15.10	7				
45			岩下部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 6210	H 7.12	15				
46		樋脇中央	塔之原部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 800 さ 693	H11.10	11	A-2モリタ			
47			河内部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 6209	H 7.12	15				
48		市比野中央	市比野部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2841	H22.11	0				
49				積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9347	H10.10	12				
50				上手部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 7363	H 9. 1	13			
51		市比野南	藤本部	積載車	ニッサン	鹿児島 88 す 6344	H 8. 2	14				
52			野下部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 3496	H 4.12	18				
53		入来	副田	一部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 88 す 5156	H 6.11	16	A-2モリタ		
54				二部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7097	H 8.10	14			
55			清色	清色部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 407	H19. 9	3	A-2吉谷機械		
56			大馬越	大馬越部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 7239	H 8.12	14			
57			朝陽	朝陽部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 6191	H 7.11	15			
58	祁答院	黒木	1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 8652	H17.12	5	A-2日本 ドライケミカル			
59			上手	1部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 5196	H14.12	8	A-2モリタ		
60		下手	1部	ポンプ車	三菱	鹿児島 800 さ 3782	H13.12	9	A-2モリタ			
61			2部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9544	H10.12	12				
62		蘭牟田	1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 2028	H21.11	1	A-2日本 ドライケミカル			
63			2部	積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9543	H10.12	12				

番号	大隊	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	購入年月	経過年数	ポンプ及びメーカー	備考		
64	上 甌 大 隊	上甌	里	北部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2334	H12.11	10				
65				中部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 2337	H12.11	10				
66				南部	積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 839	H11.11	11				
67				支所部	水槽付ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9738	H19. 1	3	A-2 GM いちほら	水 1.5t		
68			上甌中央	中甌部	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 2318	H22. 3	0	モリタ			
69					ミニ積載車	ダイハツ	鹿児島 880 あ 579	H20.12	2				
70				江石部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 522	H 4. 1	18				
71			平良部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 598	H 5.12	17					
72			支所部	ポンプ車	いすゞ	鹿児島 88 す 9711	H11. 2	11	A-2モリタ				
73			浦内	浦内部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 681	H 7. 1	15				
74					ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 597	H 5.11	17				
75				桑之浦部	ミニ積載車	スズキ	鹿児島 80 あ 599	H 5.12	17				
76			下 甌 大 隊	下甌	下甌北	長浜1部	ポンプ車	日野	鹿児島 800 す 399	H19. 9	3	A-2日本 ドライケミカル	
77						長浜2部	多機能型	いすゞ	鹿児島 800 す 1289	H20.11	2	モリタ	
78							ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 876	H 8.12	14		
79	青瀬部	積載車				トヨタ	鹿児島 88 す 6212	H 7.12	15				
80		ミニ積載車				三菱	鹿児島 80 あ 771	H 7.12	15				
81	内川内部	ミニ積載車				三菱	鹿児島 80 あ 973	H 9.12	13				
82	瀬々野浦部	積載車				トヨタ	鹿児島 88 す 9755	H11. 2	11				
83		P付ミニ積載車				スバル	鹿児島 80 あ 1086	H10.11	12				
84	下甌南	手打1部			ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 7479	H16.11	6	A-2モリタ			
85		手打2部			積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 9547	H10.12	12				
86					ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 1077	H10.11	12				
87		片野浦部			積載車	トヨタ	鹿児島 88 す 5153	H 6.12	16				
88					ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 772	H 7. 1	15				
89	支所部	ミニ積載車			三菱	鹿児島 80 あ 654	H 7. 9	15					
90	鹿島	1部			ポンプ車	日野	鹿児島 800 さ 9609	H18.12	4	A-2日本機械			
91			積載車	トヨタ	鹿児島 800 さ 6423	H15.12	7						
92		2部	ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 451	H 3. 1	19						
93			ミニ積載車	ホンダ	鹿児島 80 あ 452	H 3. 1	19						
94		支所部	ミニ積載車	三菱	鹿児島 80 あ 1664	H15.12	7						

7. 小型ポンプの概要

H 23. 4. 1 現在

番号	大隊	方面隊	分団名	部 名	機種名	購入年月	型 式	ポンプ級	備 考	
1		団本部	団本部	団本部	トーハツ	13. 11	V C 62 A S	B - 3 級		
2	中 央 大 隊	川内南	川内中央南	宮里部	シバウラ	15. 11	S F 656 M Z	〃		
3				中央二部	ラビット	20. 10	P 477	〃		
4			川内南	川内南	中福良部	シバウラ	7. 9	T F - 35	〃	
5					宮崎部	ラビット	12. 10	P 476	〃	
6					永利部永利班	ラビット	9. 11	P 455	〃	
7					永利部百次班	トーハツ	9. 9	V 46 B S	〃	
8			平佐東	平佐東	一部	シバウラ	15. 11	S F 656 M Z	〃	
9					二部	ラビット	20. 10	P 477	〃	
10			高江	高江部	シバウラ	4. 12	T F - 35	〃		
11			中 央 大 隊	川内北	川内中央北	中郷部	トーハツ	13. 11	V C 62 A	〃
12	下東郷	一部			ラビット	12. 10	P 476	〃		
13		二部			ラビット	12. 10	P 476	〃		
14	高城東	高城東			高城部	トーハツ	17. 3	V C 62 B S	〃	
15					陽成部	トーハツ	17. 3	V C 62 B S	〃	
16	城上	城上			上城上部	ラビット	13. 11	P 476	〃	
17					下城上部	ラビット	9. 12	P 455	〃	
18	東郷	東郷中央			一部	シバウラ	10. 6	S F 656 M H	〃	
19					二部	トーハツ	5. 3	V 46 A S	〃	
20		ラビット				9. 7	P 455	〃		
21		東郷東	東郷東	南瀬部	トーハツ	11. 7	V 46 B S	〃		
22				山田部	ラビット	9. 7	P 455	〃		
23		東郷西	東郷西	鳥丸部	シバウラ	10. 6	S F 656 M H	〃		
24	藤川部			シバウラ	15. 8	S F 656 M Z	〃			
25	西 部 大 隊	川内西	水引	水引部	ラビット	12. 10	P 476	〃		
26				港部	トーハツ	17. 3	V C 62 B S	〃		
27			高城西	高城西	西方部	シバウラ	7. 9	T F - 35	〃	
28					湯田部	シバウラ	10. 12	S F 661	〃	
29			川内西	川内西	久見崎部	ラビット	8. 10	P 408 R	〃	
30					寄田部	トーハツ	13. 11	V C 62 A	〃	
31						トーハツ	9. 9	V 46 B S	〃	

番号	大隊	方面隊	分団名	部 名	機種名	購入年月	型 式	ポンプ級	備 考	
32	東 部 大 隊	樋脇	樋脇北	倉野部	トーハツ	13. 11	V C 52 A S	B - 3 級		
33					トーハツ	62. 9	V 50 C	〃		
34				岩下部	ラビット	18. 1	P 476 B	〃		
35				樋脇中央	河内部	ラビット	9. 12	P 455	〃	
36			ラビット			62. 3	P 408 R	〃		
37			市比野中央	市比野部	ラビット	10. 10	P 555	〃		
38					上手部	シバウラ	6. 11	S F 655 M	〃	
39				トーハツ		59. 9	V 50	〃		
40			市比野南	藤本部	シバウラ	21. 12	S F 656 A Z	〃		
41					トーハツ	5. 12	V 46 A S	〃		
42				野下部	ラビット	16. 8	P 476 A	〃		
43					トーハツ	7. 12	V 46 A S	〃		
44			入来	副田	二部	トーハツ	12. 11	V C 62 A S	〃	
45				大馬越	大馬越部	トーハツ	12. 7	V C 62 A S	〃	
46		朝陽		朝陽部	シバウラ	9. 7	S F 660 MH	〃		
47		祁答院	黒木	1 部	ラビット	13. 9	P 476	〃		
48			上手	1 部	ラビット	10. 12	P 476	〃		
49			下手	2 部	ラビット	10. 12	P 476	〃		
50			藺牟田	2 部	ラビット	10. 12	P 476	〃		
51		上 甌 大 隊	上甌	里	北部	ラビット	10. 11	P 455	〃	
52	中部				ラビット	8. 11	P 450	〃		
53	南部				ラビット	12. 12	P 455	〃		
54	上甌中央			中甌部	トーハツ	6. 12	V 4601	〃		
55					トーハツ	20. 12	V C 62 B S	〃		
56				江石部	ラビット	7. 1	P 450	〃		
57	平良部			シバウラ	21. 12	S F 656 A Z	〃			
58	浦内			浦内部	シバウラ	21. 12	S F 656 A Z	〃		
59					ラビット	5. 12	P 450	〃		
60				桑之浦部	ラビット	7. 1	P 450	〃		

番号	大隊	方面隊	分団名	部 名	機種名	購入年月	型 式	ポンプ級	備 考
61	下 甌 大 隊	下甌	下甌北	長浜2部	トーハツ	20. 11	V F 53 A S	B - 3 級	
62					シバウラ	20. 9	S F 756 A Z	〃	
63				青瀬部	ラビット	7. 12	P 450 S	〃	
64					ラビット	7. 12	P 450 S	〃	
65				内川内部	ラビット	9. 11	P 450 S	〃	
66				瀬々野浦部	ラビット	10. 11	P 408 R E	〃	
67					ラビット	9. 11	P 455	〃	
68			下甌南	手打2部	ラビット	10. 10	P 457	〃	
69					ラビット	21. 12	S F 656 A Z	〃	
70				片野浦部	ラビット	6. 11	P 450 M	〃	
71					ラビット	7. 12	P 450 R S	〃	
72			支所部	ラビット	9. 12	P 455	〃		
73			鹿島	2部	ラビット	15. 12	P 455 A	〃	
74					ラビット	9. 12	P 440 S	〃	
75					ラビット	18. 1	P 476 B	〃	
76					ラビット	7. 12	P 450 S	〃	
77					ラビット	13. 9	P 455 A	〃	
78					ラビット	16. 9	P 455 A S	〃	
79					ラビット	16. 11	P 455 A S	〃	
80				支所部	ラビット	15. 9	P 455 A	〃	

8. その他、消防行政協力団体

(1) 薩摩川内市危険物安全協会

(組 織)

H 23. 4. 1 現在

会 長	副 会 長	評 議 員	監 事	顧 問	正 会 員	賛 助 会 員
1 名	3 名	10 名	2 名	1 名	118 事業所	9 事業所

(事 業)

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 消防思想の普及高揚と災害予防対策 | (6) 普通救命講習会の開催 |
| (1) 災害事故例等参考資料の配布 | (7) 接地抵抗計、訓練用消火器の貸出し |
| (2) 法令改正等研修 | 2. 会員相互の親睦 |
| (3) 危険物保全に関する啓発及び指導 | 3. 危険物取扱者及び事業所の表彰 |
| (4) 先進地視察及び災害現場視察 | 4. 薩摩川内市管内危険物取扱事業所の本会への加入促進 |
| (5) 自衛消防隊消火競技大会の実施 | 5. その他本会の目的達成に必要な事業 |

(予 算)

歳 入

平成 23 年度 (単位：円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
901,000	0	266,967	10,000	1,177,967

歳 出

会 議 費	事 業 費	事 務 費	県危協負担金	雑 費	予 備 費	計
250,000	315,000	400,000	121,000	10,000	81,967	1,177,967

(2) 薩摩川内市防火管理協会

(組 織)

H 23. 4. 1 現在

会 長	副 会 長	理 事	監 事	正 会 員	賛 助 会 員
1 名	4 名	30 名	2 名	369 事業所	10 事業所

(事 業)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 防火管理者の育成及び消防（防火）思想の普及高揚 | 5. 防火ポスター展の実施 |
| 2. 防火管理者及び防災担当者の研修会、講習会等 | 6. 各種災害の予防対策の研究 |
| 3. 自衛消防隊消火競技大会の実施 | 7. 消防施設の維持管理の指導及び保守点検 |
| 4. 普通救命講習会の開催 | 8. 協会紙の発行 |
| | 9. 優良会員事業所等の表彰 |
| | 10. その他本会の目的達成上必要なこと |

(予 算)

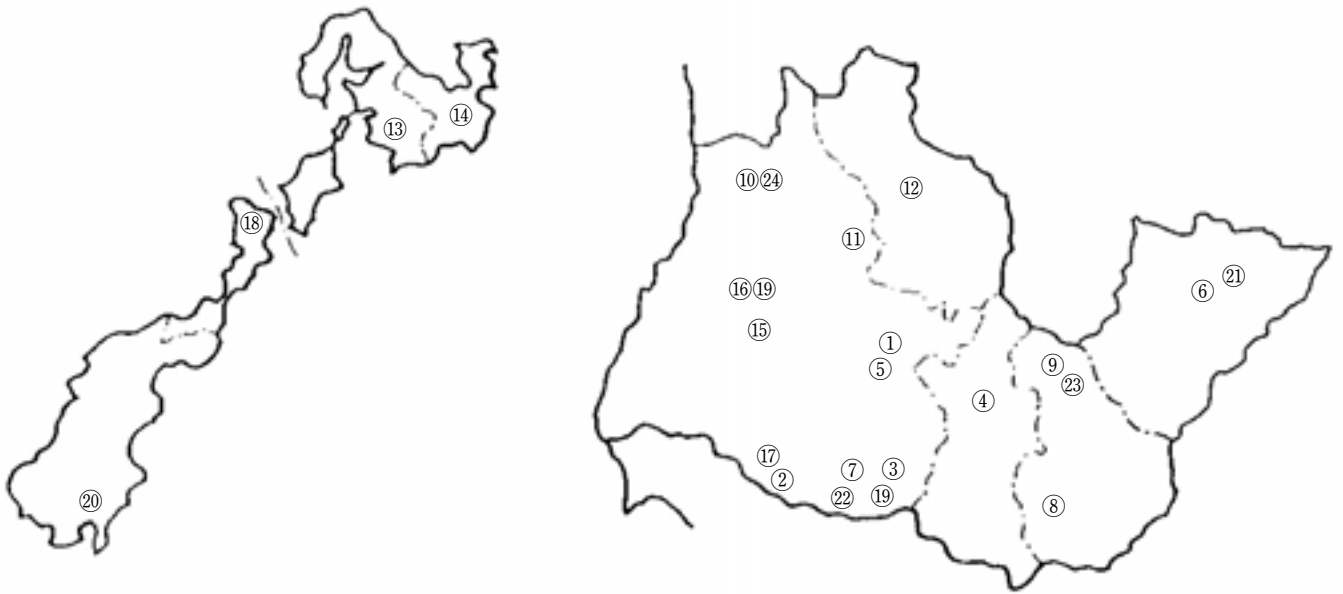
歳 入

平成 23 年度 (単位：円)

会 費	補 助 金	繰 越 金	雑 収 入	計
1,610,000	0	255,245	1,000	1,866,245

歳 出

会 議 費	事 業 費	事 務 費	雑 費	予 備 費	計
290,000	940,000	590,000	3,000	43,245	1,866,245



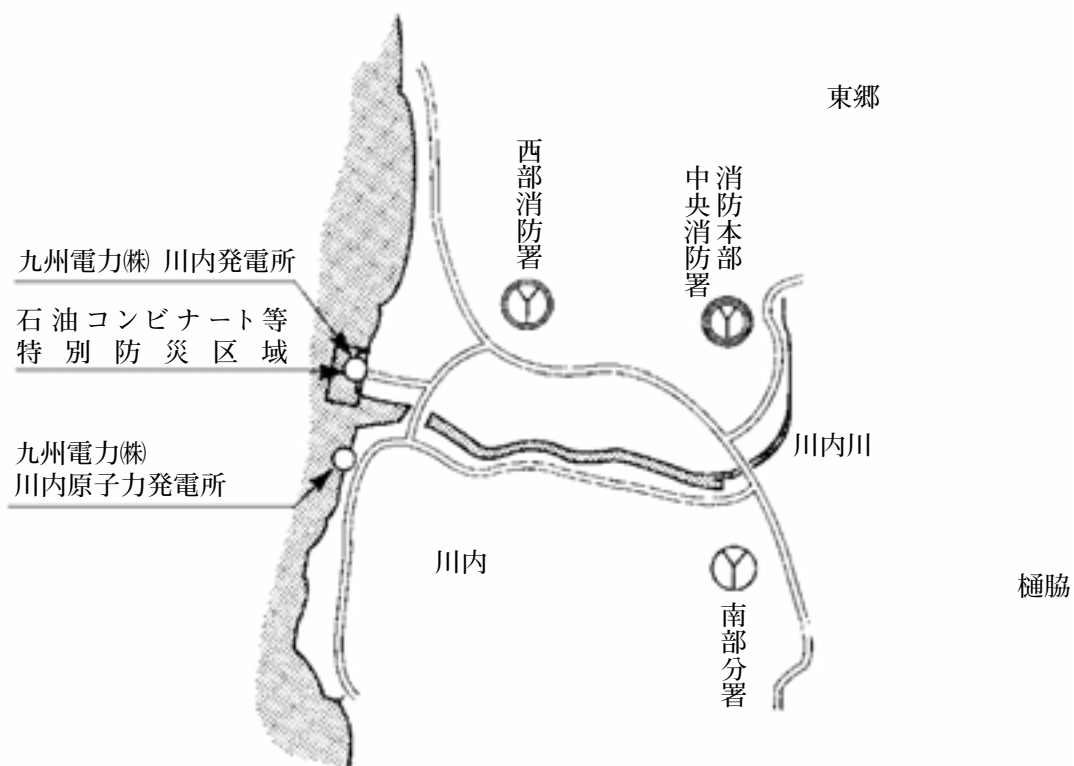
● 消防クラブ結成状況

H 23. 4. 1 現在

番号	ク ラ ブ 名	結成年月日	人員	所 在 地
1	平佐保育園幼年消防隊	S 58. 4.30	135	平佐町 3879 番地 2
2	青山幼稚園幼年消防隊	S 59.10.22	85	青山町 4194 番地
3	永利保育園幼年消防クラブ	S 59.11. 1	123	百次町 1069 番地 22
4	善福寺保育園幼年防火クラブ	S 59.11. 1	67	樋脇町塔之原 1177 番地
5	川内幼稚園幼年消防隊	S 60. 4.22	74	平佐町 3590 番地 2
6	祁答院幼稚園幼年防火クラブ	S 60.10. 1	17	祁答院町下手 255 番地
7	勝目保育園幼年消防隊	S 61.10.27	30	勝目町 5315 番地 71
8	入来保育所幼年消防クラブ	S 61.11.15	30	入来町浦之名 7517 番地 3
9	浄国寺保育園幼年消防クラブ	H 11. 4. 1	60	入来町副田 5752 番地
10	西風園幼年消防クラブ	H 11. 4. 2	17	西方町 2605 番地 1
11	育英保育園幼年消防クラブ	H 11.12. 1	83	中郷 4 丁目 187 番地
12	東郷幼稚園幼年消防クラブ	H 12. 1.11	113	東郷町斧淵 4773 番地 2
13	中津幼稚園幼年消防クラブ	H 13. 5.21	26	上甌町中甌 253 番地
14	里幼稚園幼年消防クラブ	H 13. 6.19	24	里町里 1650 番地 1
15	高江保育園幼年消防クラブ	H 15. 1.15	57	高江町 1901 番地
16	水引保育園幼年消防隊	H 15. 8. 1	43	水引町 4795 番地
計			984 名	
17	青山少年消防クラブ	S 58.11. 3	12	青山町 4222 番地 14
18	鹿島少年消防クラブ	H 3. 5.22	11	鹿島町藺牟田 1397 番地
19	川内精舎少年消防クラブ	H 11. 5. 1	24	百次町 649 番地 1
計			47 名	
20	祁答院幼稚園女性防火クラブ	S 60.10. 1	14	祁答院町下手 255 番地
21	勝目保育園女性消防クラブ	S 63. 1.23	30	勝目町 5315 番地 71
22	副田女性防火クラブ	H 9. 5. 1	15	入来町副田 5857 番地
23	西方女性防火クラブ	H 12. 2. 1	16	西方町 2413 番地
計			75 名	
合計			1,106 名	

9. 特殊施設

H 23. 4. 1 現在



◎ 九州電力(株) 川内発電所

総合出力 1,000,000kw

1号機 500,000kw

2号機 500,000kw

附帯施設

重油タンク 30,000kl 1基

原油タンク 30,000kl 3基

軽油タンク 300kl 2基

アンモニア { 15 t 1基
10 t 1基

◎ 九州電力(株) 川内原子力発電所

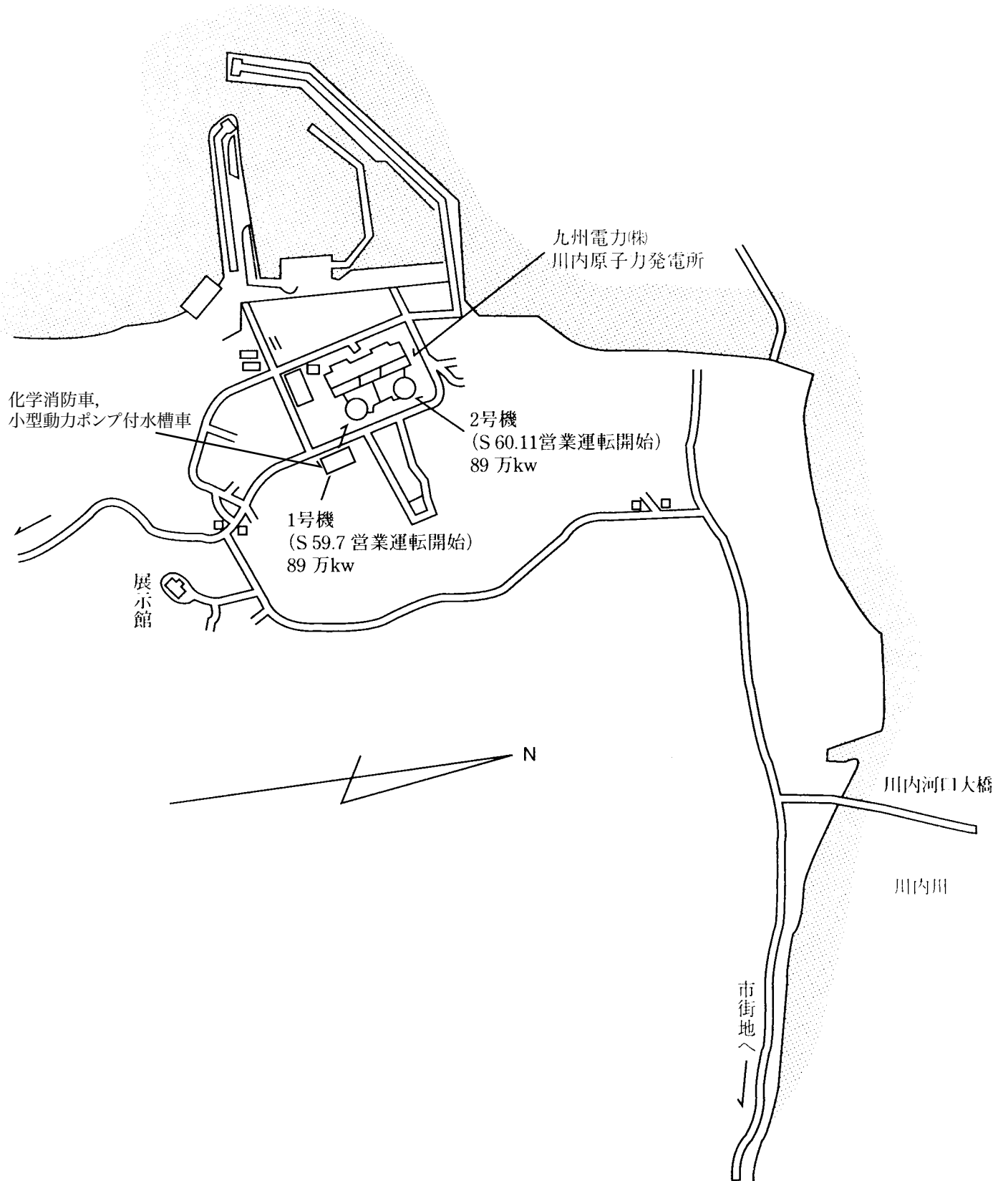
総合出力 1,780,000kw

1号機 890,000kw

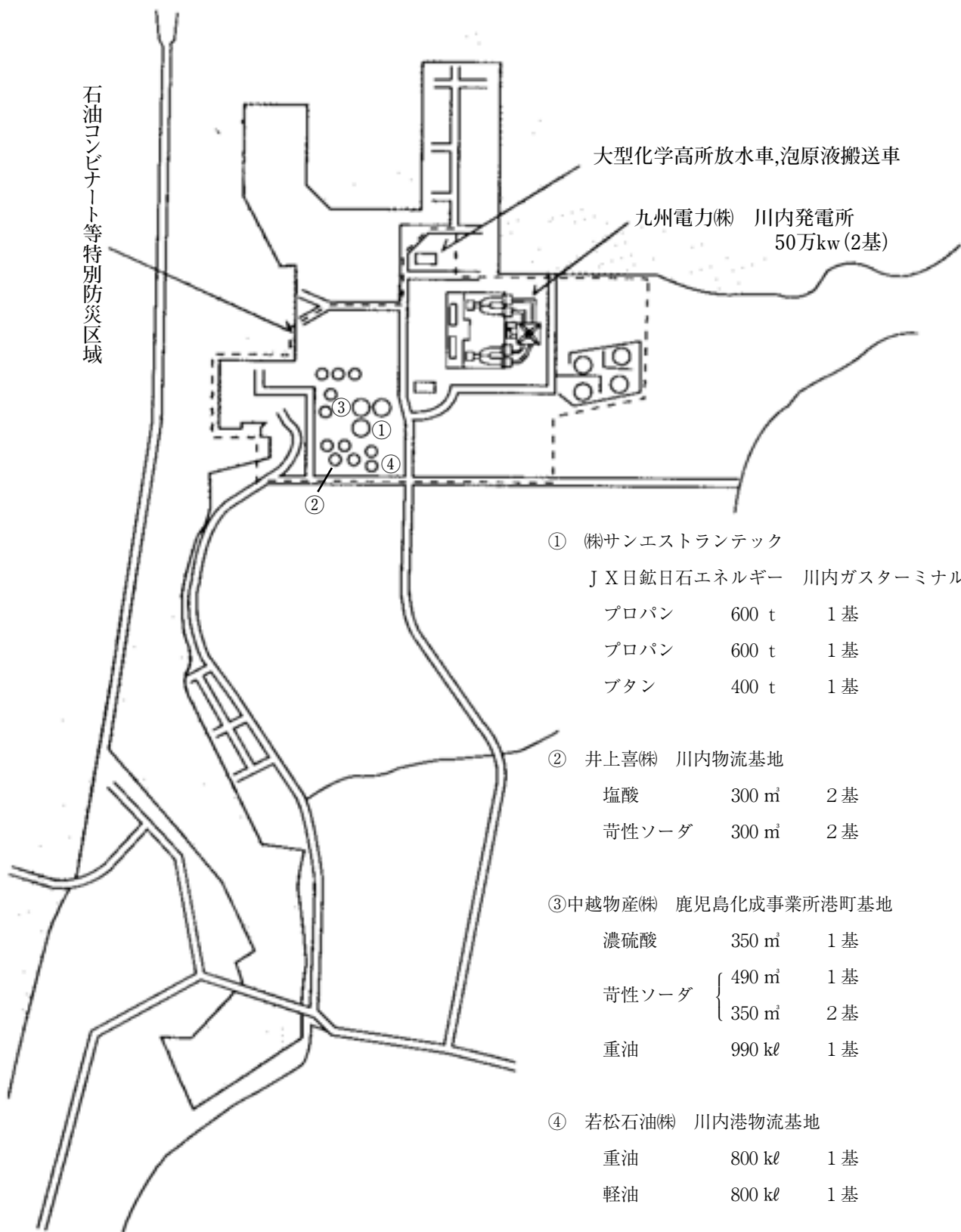
2号機 890,000kw

原子炉 低濃縮二酸化ウラン

軽水減速・軽水冷却加圧水型 2基



石油コンビナート等特別防災区域



- ① (株)サンエストランテック
 J X日鉱日石エネルギー 川内ガスターミナル
 プロパン 600 t 1基
 プロパン 600 t 1基
 ブタン 400 t 1基
- ② 井上喜(株) 川内物流基地
 塩酸 300 m³ 2基
 苛性ソーダ 300 m³ 2基
- ③ 中越物産(株) 鹿児島化成事業所港町基地
 濃硫酸 350 m³ 1基
 苛性ソーダ { 490 m³ 1基
 350 m³ 2基
 重油 990 kl 1基
- ④ 若松石油(株) 川内港物流基地
 重油 800 kl 1基
 軽油 800 kl 1基

付録

1. 消防本部・署の沿革（川内市消防本部）

年	月	概	要
昭和 26年	4月 1日	消防本部を創設（初代消防長 近藤磨瑳雄（団長兼務）以下 9 人）	
昭和 27年	11月 13日	自動車ポンプを購入（消防長以下 18 人）	
昭和 32年	10月 20日	気象観測開始	
昭和 33年	1月	自動車ポンプを購入（人口 62,492 人，職員 27 人，自動車ポンプ 2 台）	
昭和 34年	11月 10日	消防署を創設（近藤消防長，初代署長を兼務）	
昭和 35年	6月 30日	近藤消防長（署長）退任，第 2 代消防長に仮屋重夫市助役が消防長事務取扱として就任	
昭和 36年	3月 1日	第 2 代消防署長に須田清春就任	
昭和 37年	4月 1日	大小路分遣隊を新設（職員 9 人，自動車ポンプ 1 台）	
	5月 17日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
昭和 39年	3月 25日	消防無線開設（基地 1，移動 3 台）	
昭和 41年	12月 15日	須田清春署長が第 3 代消防長に，平瀬松次次席が第 3 代署長に就任	
昭和 43年	4月 15日	平瀬署長退任（須田消防長，第 4 代署長を兼務）	
	5月 1日	救急業務開始（職員 41 人，自動車ポンプ 4 台，救急車 1 台）	
昭和 45年	12月 28日	須田消防長（署長）退任，児玉篤信市助役が第 4 代消防長事務取扱となる	
昭和 46年	1月 9日	平山武徳次席が第 5 代署長に就任	
	7月 7日	平山武徳次長兼署長に就任	
	9月 30日	児玉消防長事務取扱が退任，横山正元市長が第 5 代消防長事務取扱に就任	
昭和 47年	1月 17日	梯子車（24 m）を購入（職員 53 人，自動車ポンプ 3 台，救急車 1 台）	
昭和 48年	9月 1日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける	
	9月 18日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける	
昭和 49年	9月 28日	横山消防長事務取扱が退任，福壽十喜市長が第 6 代消防長事務取扱に就任	
昭和 50年	1月 7日	平山次長 署長の兼務を解き，浜田博之第 6 代署長に就任	
	3月 20日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
	6月 23日	平山次長退任	
	11月 3日	日乃出屋より器具車の寄贈を受ける（職員 54 人，本部車 1 台，自動車ポンプ 3 台，梯子車 1 台，救急車 2 台，器具車 1 台）	
	12月 1日	十島良郎次長に就任	
昭和 53年	4月 1日	川内市中郷町 2，0 2 3 に新庁舎落成移転，同時に大小路分遣隊は市役所庁舎に移転，向田分遣隊と改称	
	5月 15日	川内信用金庫より消防指揮車の寄贈を受ける	
昭和 54年	7月 20日	京都セラミックより救急車の寄贈を受ける	
昭和 55年	3月 3日	浜田署長退任，堀之内成夫第 7 代署長に就任	
	11月 20日	十島次長退任，堀之内成夫次長兼署長に就任	
	11月 26日	タイヨーより救急車の寄贈を受ける	
昭和 56年	1月 20日	堀之内次長兼務を解き署長	
	1月 26日	福壽消防長事務取扱退任，山本孝一第 7 代消防長に就任	

川内地区消防組合

年	月	概	要
昭和 56年	4月 1日	1市3町4村を構成員とする川内地区消防組合発足 条例定数 105人 実員 76人 管理者 福壽十喜 助役 仁礼国市 収入役 松永富男 初代消防長 山本孝一 向田分遣隊を中央消防署南部分署と改称	
	7月 15日	川内地区消防組合紋章・組合旗の制定	
	12月 1日	土地区画整理事業により、消防本部・署の所在地町名地番変更 (川内市原田町 185 番地)	
昭和 57年	2月 10日	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受ける	
	2月 24日	中央消防署上甌・下甌分駐所庁舎及び消防吏員待機宿舎完成	
	3月 31日	救急指令装置をB型電子式に整備・無線局寺山公園中継局設置 中央消防署上甌・下甌分駐所開所 各所に職員 6人・救急車 1台配備	
昭和 58年	1月 28日	中央消防署車庫新築 (鉄骨スレート葺 32 m ²)	
	3月 11日	鹿児島県共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受ける	
	3月 18日	東部消防署庁舎完成 (入来町浦之名 727 番地 2)	
	3月 19日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受ける	
	4月 1日	東部消防署開署 (職員 11人, 水槽付消防ポンプ自動車 1台, 救急車 1台, 指揮車 1台配備)	
	10月 1日	東部消防署に職員 6人を増置, 17人とする コーアガス鹿児島・南日本ガスより指令車の寄贈を受ける	
	11月 1日	川内信用金庫より救急車の寄贈を受ける	
昭和 59年	1月 26日	管理者 福壽十喜 急逝	
	3月 12日	仁礼国市第 2 代管理者に就任	
	3月 26日	西部消防署庁舎完成 (川内市水引町 3397 番地 2)	
	4月 1日	西部消防署開署 (職員 13人, 大型高所放水車 1台, 水槽付消防ポンプ自動車 1台, 救急車 1台, 指揮車 1台配備)	
	7月 1日	萩迫良和第 2 代助役に就任	
	8月 28日	日本消防協会より電源照明用資機材搬送車の寄贈を受ける	
	10月 1日	西部消防署に職員 4人を増置, 17人とする	
	11月 1日	中央消防署通信指令室にファクシミリ設置	
昭和 60年	2月 27日	中央消防署倉庫新築 (鉄骨スレート葺 2階建 延面積 64 m ²)	
	2月 28日	寺山無線中継局に遠方監視装置増設	
	4月 1日	条例定数改正 119人 実員 108人	
昭和 60年	12月 3日	三井液化ガスより指揮車の寄贈を受ける	
	12月 25日	救急業務用地図等検索装置 (光ディスク方式) 購入	
昭和 61年	4月 1日	消防本部警防課に通信指令係を新設 (職員 3人)	
	4月 18日	消防組合発足 5 周年記念式典を挙行	

年	月	概	要
昭和 61年	8月 11日	山本消防長退任（萩迫助役が消防長事務取扱兼務）	
	10月 1日	野田泰宏第 2 代消防長に就任	
昭和 62年	3月 28日	消防本部，中央消防署庁舎増築・模様替工事（2 階部分 261 m ² 増築）	
	12月 7日	中央消防署車庫新築（鉄骨スレート葺 73.95 m ² ）	
	12月 15日	福崎勇夫氏（川内市）より救急車の寄贈を受ける	
昭和 63年	3月 9日	救助工作車及び救助資機材一式を購入，中央消防署に配備	
	6月 30日	消防庁長官表彰（表彰旗）	
	9月 6日	松永収入役退任	
	12月	森 卓朗第 2 代収入役に就任	
		市町村負担金分賦割合の変更につき関係市町村と協議	
		全市町村議会議決	
平成 元年	1月 30日	だいわより救急車の寄贈を受ける（川内市へ）	
	2月 2日	東部消防署車庫新築（鉄骨スレート葺 17.92 m ² ）	
	3月 4日	市町村負担金分賦割合の変更許可（県知事）	
	12月 5日	日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける	
平成 2年	3月 31日	野田消防長退任	
	4月 1日	内田耕也第 3 代消防長に就任	
	6月 16日	堀ストアより救急車の寄贈を受ける（川内市へ）	
	10月 24日	南九州開発より梯子車（35 m）の寄贈を受ける（川内市へ）	
平成 3年	4月 7日	川内ライオンズクラブより救急車の寄贈を受ける	
	8月 4日	消防組合発足 10 周年記念式典を挙行（第 9 回消防フェスティバル同時開催）	
平成 4年	3月 2日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局の貸与を受ける（5w15 基）	
	3月 26日	中央消防署南部分署新庁舎完成（川内市若松町 8 番 20 号）	
	8月	中央・東部・西部各消防署で消防フェスタ開催	
	9月 1日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける	
	10月 1日	中央消防署南部分署に職員 4 人を増置，13 人とする	
	11月 1日	大型高所放水車を西部消防署から中央消防署南部分署に配置転換	
平成 5年	3月 20日	中央消防署南部分署に訓練塔建設	
	3月 16日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局（5w10 基）及び救助資器材等（空気呼吸器 5 基他）の貸与を受ける	
	3月 27日	サンテックより小型船舶（1.5 t）の寄贈を受ける	
	9月 20日	市町村負担金分賦割合に関する組合規約変更届出（平成 6 年度負担金から適用）	
平成 6年	2月 15日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局（10w2 基，5w6 基）及び救助資器材等（空気呼吸器 5 基他）の貸与を受ける	

年	月	概	要
平成 6年	4月 1日	通信指令室に河川情報等受信用端末機を設置	
	5月18日	救急救命士誕生, 11月に2人となる	
平成 7年	1月24日	阪神淡路大震災被災地へ職員5人, 車両2台を派遣	～28日
	3月31日	内田消防長退任	
	4月 1日	山口 傳第4代消防長に就任(昇任)	
		条例定数改正 128人 実員 123人	
		川内市のコンピュータ(サーバ)と電話回線により接続された端末機を消防本部総務課に設置, 財務会計のオンライン処理開始	
	5月19日	救急救命士3人となる	
	7月27日	日本損害協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける	
	8月21日	第1回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)	～23日
	8月25日	森収入役退任	
	8月29日	日本消防協会より救急車の寄贈を受ける	
	8月31日	萩迫助役退任	
	10月 1日	救急救命士の院内研修を川内市医師会立市民病院で実施	
		(10月2人, 11月2人)	
	11月22日	救急救命士4人となる	
平成 8年	1月18日	高規格救急車及び高度救命処置用資機材を購入, 中央消防署に配備	
	3月10日	仁礼管理者退任	
	3月11日	森 卓朗第3代管理者に就任	
	3月15日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局(10w2基, 5w3基)の貸与を受ける	
	4月 1日	富山新八第3代助役に就任	
		若松隆久第3代収入役に就任	
		高規格救急車等による高度救急業務を開始	
		消防本部警防課の通信指令係を第1通信指令係及び第2通信指令係とする	
	4月 9日	コアガスグループより指令車の寄贈を受ける	
	8月20日	第2回応急手当普及員講習会を実施(29人認定)	～22日
	10月22日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(熊本県菊池郡)	～23日
	12月 2日	救急救命士5人となる	
平成 9年	3月26日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度5強	
	3月31日	山口消防長退任	
	4月 1日	岩切秀雄第5代消防長に就任	
	4月 4日	カコイエレクトロより連絡車(ベスト電器号)の寄贈を受ける	
	5月12日	救急救命士6人となる	
	5月13日	鹿児島県北西部地震 M6.2 震度6弱	
	7月10日	鹿児島県消防相互応援協定に基づき出水市針原地区の土石流災害現場へ職員15人, 車両3台を派遣	～11日

年	月	概	要
平成 9年	8月 20日	日本宝くじ協会より消火・通報訓練指導車（けすゾウくん）の寄贈を受ける	
	10月 7日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（福岡市）～ 8日	
	11月	救急救命士 7 人となる	
平成 10年	3月 7日	自治体消防制度 50 周年	
	3月 10日	代表電話番号の変更 0996 - 22 - 0119	
	4月 1日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）稼働 携帯電話等からの 119 番通報受信開始 女性消防吏員 1 人採用	
	4月 22日	中央消防署梯子車（35 m）分解整備（オーバーホール）～ 9月 30日	
	5月 1日	川内地区消防組合潜水隊編成（7 人）	
	5月 12日	救急救命士 8 人となる	
	11月 19日	川内ライオネスクラブより予防指導車（川内ライオネスクラブ号）の寄贈を受ける	
平成 11年	11月 25日	救急救命士 9 人となる	
	2月 24日	東部消防署 高規格救急車等による高度救急業務を開始	
	3月 5日	市町村負担金の支弁方法の改正に伴う県知事への組合規約変更届出（平成 11 年度より適用）	
	4月 1日	消防本部に予防課を新設し 3 課 7 係となる 職員実数 128 人となる	
	4月 9日	消防行政相談日並びに普通救命講習会開催（以降毎月 9 日に定期的実施）	
	5月 11日	救急救命士 10 人となる	
	5月 20日	第 83 回全国消防長会法制委員会を樋脇町で開催 ～ 21 日	
	10月 19日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎市）～ 20 日	
	11月 10日	救急救命士 11 人となる	
平成 12年	2月 1日	消防本部及び消防署の住居表示変更 原田町 22 番 10 号	
	3月 17日	上・下甌分駐所消防職員待機宿舎を上・下甌に 1 棟ずつ新築し、合わせて 6 世帯確保となる	
	31日	富山助役退任	
	4月 1日	岩切消防長退任 岩切秀雄第 4 代助役に就任 春田廣士第 6 代消防長に就任	
		原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から（エアート一式、発電機等 8 式、防護服等 50 式）の貸与を受ける	
	18日	南部分署大型高所放水車分解整備（オーバーホール）～ 9月 30日	
	5月 9日	救急救命士 12 人となる	
	10月 23日	緊急消防援助隊全国合同訓練参加（東京都江東区）～ 24 日	

年	月	概	要
平成 12年	10月 29日	川内ライオンズクラブ (35 周年記念事業) から指揮広報車 (川内ライオンズ号) の寄贈を受ける	
	11月 1日	救急救命士 13 人となる	
平成 13年	3月 23日	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金事業により鹿児島県から消防無線移動局 (5W5 基) の貸与を受ける	
	10月 2日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加 (佐賀市) ～ 3 日	
	10月 2日	消防組合 20 周年記念式典を挙行 (百次町, 屋内研修訓練体育施設にて) (株)	
	10月 2日	外園運輸機工より消防指揮車の寄贈を受ける	
平成 14年	3月 31日	春田消防長転任	
	4月 1日	伊豫田輝雄第 7 代消防長に就任	
	5月 13日	救急救命士 14 人となる	
	5月 29日	(有)宝山実業より救急車 (赤玉号) の寄贈を受ける	
	6月 28日	(株)おおとり荘より小型貨物自動車の寄贈を受ける	
平成 16年	10月 8日	川内地区消防組合 (昭和 56 年 4 月 1 日発足) 解散式を挙行 (中央消防署車庫にて)	

2. 東北地方太平洋沖地震緊急消防援助隊「薩摩川内市消防局」活動記録

◎派遣隊員

- (1) 鹿児島県隊 ・ 第1次派遣隊 (3/14～22) 15消防本部 37隊 108名
・ 第2次派遣隊 (3/21～23) 15消防本部 82名
- (2) 薩摩川内市消防局
- ア 第1次派遣隊 10名
- ・ 救助部隊 永田稔 (西部消防署), 大迫浩文 (予防課), 石原浩之 (警防課)
松下直生 (予防課), 帯田和志 (祁答院分署)
 - ・ 救急部隊 田中清総 (東部消防署), 領家慎二 (中央消防署), 谷口淳哉 (南部分署)
 - ・ 後方支援部隊 久木野信也 (警防課), 國分博文 (消防総務課)
- イ 第2次派遣隊 10名
- ・ 車両輸送部隊 菅牟田哲 (消防総務課), 重村卓児 (警防課), 上原義明 (警防課)
森山勝男 (予防課), 上川畑勝文 (中央消防署), 原直生 (中央消防署)
山崎久志 (南部分署), 前田浩幸 (東部消防署)
奥藪佑太 (祁答院分署), 小牟田健介 (西部消防署)

◎ 移動行程等 (走行距離及び時間帯) ※支援車メーターにて

- (1) 消防本部から進出拠点 (宮城県涌谷スタジアム) までの走行距離及び累計時間
- ・ 走行距離 約1950km 累計時間 約43時間 (休憩を含む) ※(2)～(5)合計
- (2) 3月14日 (日)
- ・ 13時40分 消防本部出発～宮崎県えびのPA鹿児島県隊集結
～3月15日 0時35分 広島県消防学校到着
走行距離及び時間 (休憩を含む) 約590km 11時間



鹿児島県隊集結状況

(3) 3月15日(火)

・ 5時50分 広島県消防学校出発

～ 13時50分 京都市消防総合活動センター到着 約430km 8時間

・ 16時30分 京都市消防総合活動センター出発

～ 3月16日 1時40分 静岡県消防学校到着 約300km 9時間

走行距離及び時間(休憩を含む) 約730km 17時間



京都市消防総合活動センター到着状況



静岡県消防学校到着状況

(4) 3月16日(水)

・ 14時40分 静岡県消防学校出発

～ 23時50分 東北自動車道那須高原SA到着

走行距離及び時間(休憩を含む) 約375km 9時間



那須高原SA野営状況



(5) 3月17日(木)

・ 6時15分 東北自動車道那須高原SA出発

～ 11時49分 進出拠点場所宮城県涌谷スタジアム到着

走行距離及び時間(休憩を含む) 約250km 5時間30分



宮城県三本木SA



進出拠点涌谷スタジアム到着状況

(6) 進出拠点から石巻広域消防本部までの距離・時間

・距離 約20km 時間 約40分



石巻広域消防組合到着状況

(7) 活動終了・進出拠点引き揚げの状況

- ・消火、救助部隊については、3月20日（日）17時をもって活動を終了、石巻広域消防本部を引き揚げ、進出拠点場所涌谷スタジアムへ移動し、野営を行う。
- ・救急部隊については、3月21日（月）0時をもって活動終了。石巻広域消防本部にて仮眠を実施。8時石巻広域消防本部から進出拠点場所へ移動する。
- ・鹿児島県隊は、全ての活動を終了し、21日（月）9時30分涌谷スタジアムを出発し、東京消防庁消防学校へ向かう。



資機材撤収状況



進出拠点からの引き揚げ県隊長へ申告

(8) 3月21日(月)

・ 9時30分 進出拠点出発

～ 18時10分 東京消防庁消防学校到着

走行距離及び時間(休憩を含む) 約450km 8時間40分

(9) 3月22日(火) 第二次派遣部隊東京消防庁消防学校 6時出発

・ 11時35分 羽田空港出発 ～ 13時55分 鹿児島空港到着



第二次派遣部隊東京消防庁消防学校出発

(10) 3月22日(火) 第一次派遣部隊解団式

・ 14時10分 鹿児島空港駐車場



鹿児島空港の状況



解団式の状況



薩摩川内市消防局職員解団式の状況

(11) 市長報告

・本庁市民広場



市長報告の状況

(12) 局長申告

・消防局庁舎前



局長申告の状況

◎ 活動内容

(1) 救助部隊・後方支援部隊

ア 3月18日(金)

- ・石巻市役所周辺市街地、約1.5km浸水したと思われる住宅部分の調査実施。
住人の安否確認等を実施。



搜索状況

イ 3月19日(土)

- ・北上運河約2km付近の運河調査。
両岸及び薩摩川内市消防局アルミ製ボートを使用し、搜索活動実施。



搜索状況



現場状況

- ・遺体搬送隊を編成し、搬送実施。(鹿児島県隊6名で編成。大迫司令補参加)
2回合計5体の遺体を石巻広域消防本部港分署～石巻市青果市場遺体安置所へ搬送。(青果市場内には400体から500体の遺体が安置されていた。)



石巻広域消防本部港分署の状況



遺体の状況

- ・鹿児島県隊消火部隊2隊・救助部隊1隊は、現場対応のため石巻広域消防本部へ待機。
 ※13時40分 その他火災出場（鎮火のため途中帰署）



待機中の車両

ウ 3月20日（日）

- ・石巻市釜尾地内搜索活動実施

状況説明 行方不明者 約400名

（その内、大川小学校 児童108名・教諭11名が津波にのみ込まれ、約7割が行方不明であった。）

- ・現場到着時の状況

堤防の一部が決壊し、大川小学校・大川中学校周辺の町全体が水没している状況であり、自衛隊、警察関係が大川小学校周辺を搜索中であった。

- ・搜索状況

鹿児島県隊は、大川中学校付近を陸上及び舟艇4艘により搜索活動実施。

13時30分 民間の舟艇にて搜索活動、鹿児島県隊が遺体1体を発見する。

舟艇乗船者（薩摩川内市消防局 永田・松下・帯田、霧島市消防局職員 3名）

※舟艇の状況

民間の舟艇（船外機付き）1艘

薩摩川内市消防局アルミ製ボート1艘（手漕ぎにて活動）

新潟市消防局アルミ製ボート2艘（手漕ぎにて活動）



舟艇による搜索状況



陸上からの搜索状況

(2) 救急部隊

ア 鹿児島県隊救急出場数 約40件

イ 薩摩川内市消防局救急隊出場件数 5件

内訳 3月18日(金) 14時15分 調査出場 不搬送

19日(土) 10時47分 急病 石巻赤十字病院へ搬送

15時18分 転院搬送 石巻赤十字病院から涌谷病院へ

20日(日) 8時23分 一般負傷 不搬送

14時30分 一般負傷 石巻赤十字病院へ搬送



出場する車両



搬送先の石巻赤十字病院

作 詞 星合節子

作・編曲 吉俣 良

薩摩川内市民歌 ^{かがや} 輝け ^{みらい} 未来へ

みどりあふれる さつ まじりに きぼ
 希望をかざして 日が昇る やさしく香る カノコユリ
 豊かな自然に 恵まれて 育む文化や 産業も
 ふれあう市民の あたたかさ 歴史と共に 伸びてゆく
 ところどころ 通わせて 世紀 栄える ふるさとの
 明日を拓く 薩摩川内 平和を願う 薩摩川内

く
 う
 る

薩摩川内市民歌 ^{かがや} 輝け ^{みらい} 未来へ

- 1 みどりあふれる 薩摩路に
 希望をかざして 日が昇る
 豊かな自然に 恵まれて
 ふれあう市民の あたたかさ
 ところどころ 通わせて
 明日を拓く 薩摩川内
- 2 ひかり輝く 甌島
 やさしく香る カノコユリ
 育む文化や 産業も
 歴史と共に 伸びてゆく
 世紀 栄える ふるさとの
 平和を願う 薩摩川内
- 3 まちを潤す 川内川
 元気でゆこうと 呼びかける
 こどももおとなも いきいきと
 未来へ夢を 翔かす
 笑顔 明るく さわやかに
 幸せ創る 薩摩川内

薩摩川内ブランドロゴマーク



ロゴマークの意味

- 青は** 飯の海や川内川を表現。
研究し見極めようとする「探求する心」を象徴。
- 赤は** かのこゆり、ハート(心)を表現。
人や文化を「受け入れる心」を象徴。
- 緑は** 薩摩川内市の大自然を表現。
伝統や信念を「守り抜く心」を象徴。
- 黄は** 明るい街並や豊かな食を表現。
先んじて「取り組む心」を象徴。

それぞれを円で表現し、この四つが一体となって薩摩川内人の「心」になるという意味である。

消防年報 平成22年(2010)

発行/平成23年7月

鹿児島県薩摩川内市消防局 消防総務課
〒895-0074 鹿児島県薩摩川内市原田町22番10号
TEL 0996-22-0119 FAX 0996-20-3430
URL <http://www.city.satsumasendai.kagoshima.jp>